

【調査報告】隅田川の花見と屋台調査

友 野 千鶴子*

目 次

はじめに

第1章 隅田川護岸の花見行事運営

第2章 花見行事運営者の育成

第3章 むすびにかえて

キーワード 墨堤の花見 墨堤さくらまつり 隅田公園桜まつり 桜橋花まつり
隅田公園 隅田公園愛護会 模擬店 屋台 隅田川調査 アーカイブズ

はじめに

本稿は、2002年（平成14）3月に江戸東京博物館が発行した『東京都江戸東京博物館調査報告書第13集 隅田川をめぐる暮らしと文化』¹⁾の第2章「隅田川の花見」として当初用意したものである。進行スケジュールに合わせての作業が当時の所属部門の業務下では困難となったため、校正途中で掲載を取り下げた。その後、報告書の主管部門だった都市歴史研究室が校正原稿や図面、調査写真類を保管していることがわかり、時期を同じくして同研究室所属の図書室が当館の運営についての資料アーカイブズを提言するなどし、その経過でこの隅田川調査の写真やビデオ映像、調査会議録などを確認することができた。どれも貴重な資料であることから、この機会に原稿を再点検し報告する。

なお、作業再開にあたり、調査内容については残されていた原稿の記述を極力尊重し加筆修正を控えた。報告している組織や事象の中には、年月を経て名称の変更や、組織の位置づけが変化したり消滅しているものもある。それを変化後の呼称に置き換えて記述することは誤解の原因になるので、その当時の調査記録を基に報告していることをご了承願いたい。

第1章 隅田川護岸の花見行事運営

第1節 概観

隅田川護岸の桜は、徳川家綱の木母寺周辺への桜の植樹、吉宗による植樹の拡大により、江戸で最も

*東京都江戸東京博物館学芸員

にぎわう散策距離を持った桜の名所となった。とくに、水面に浮かぶ舟からの墨堤の花見は、他の桜の名所とはひと味違う趣があったといえよう。しかし、昭和に入ってから隅田川護岸は、かみそり堤防の造築や、桜並木と平行して頭上を走る高速道路の建設など、他の時代には類をみない環境変化の波に洗われている。それでも、台東区・墨田区の隅田川護岸・隅田公園の桜は今も春の名所であることに変わりはない。桜の開花にあわせた地元住民の活動や両区行政のイベントも活発に行われており、これらが、現在の護岸における花見の大きな特色といえる。桜の開花時期は台東区・墨田区ともに同時期であるため、おおむね3月下旬から4月上旬の期間を「隅田公園桜まつり」（台東区側）、「墨堤さくらまつり」（墨田区側）と定め、それに合わせた模擬店の営業や、満開と想定される週の土日にはイベントを実施している。1998年（平成10）の隅田川護岸の花見の最中のイベントは次のような名目で実施された²⁾。

・第10回桜橋花まつり

期日：4月4日（土）、5日（日）

場所：台東区隅田公園（桜橋際台東りバーサイドスポーツセンター体育館脇第1会場・第2会場）

主催：桜橋花まつり実行委員会・ときめきたいとうフェスタ推進委員会

後援：台東区、浅草観光連盟、清川地区全商店街

平成10年墨堤さくらまつり

期日：4月5日（日）

場所：桜橋周辺・すみだリバーサイドホール

主催：墨田区・墨田区文化観光協会観光連盟

当日は、台東りバーサイドスポーツセンター体育館脇の第1会場では地元商店街の出店テントでの商品販売【写真1】、その横の第2会場では台東区側の町会が出している屋台（模擬店）³⁾での飲食販売、桜橋では時刻を定めて行われる地元団体のかっぽれ踊りや和太鼓の演奏【写真2】、すみだリバーサイ



【写真1】地元商店街の商品販売
（台東区隅田公園 1998.4.5）



【写真2】桜橋中央での和太鼓演奏（1998.4.5）

ドホールステージでは舞踊・伝統芸能の披露【写真3】など各種イベントが行われた。そして、この他に、イベント開催日を含めた前後の期間、隅田公園内には「花見客の便をはかる」ことを目的に、地元住民を主体としたいくつもの模擬店が出された。この模擬店の開店期間は、原則として桜の開花期間であり、区の発行するチラシや広報にも模擬店の存在が明記されている。この店の営業期間が広義の花見の行事期間であるといえる。1998年（平成10）には以下の団体がこの期間を通して出店し、花見客に対応した。

- ・墨田区側：隅田公園愛護会模擬店（向島一丁目町会出店、向島二、三丁目町会出店、向島二丁目睦町会出店、向島五丁目西町会出店）
向島芸妓茶屋（向嶋墨堤組合掛け茶屋）

以上5軒

- ・台東区側：隅田公園桜まつり桜茶や⁴⁾（浅草観光連盟主催・協力地元町会青年部）

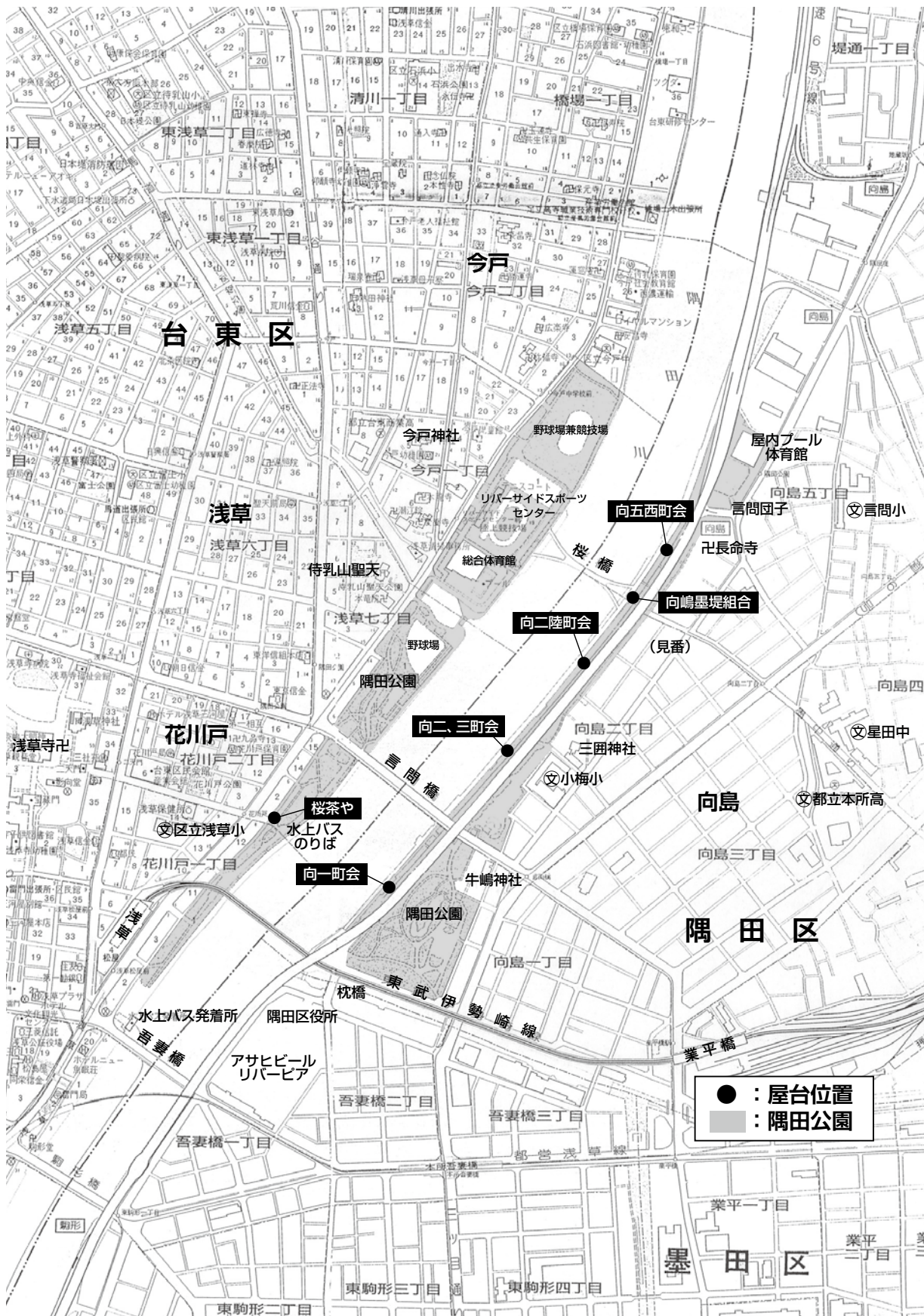
※出店位置は【図1】参照。



【写真3】すみだリバーサイドホール 屋外ステージでの伝統芸能（1998.4.5）



【写真4】ミニSLの運行（1998.4）



【図1】花見行事屋台の位置

第2節 向島を中心とした花見行事運営

当時の研究グループでは、成果を展覧会にて発表することも目指しており¹⁾、筆者は展覧会での模擬店屋台の再現展示に備え、さまざまな店の様子を調査した。その中から、主に墨田区側隅田公園の出店を中心に、花見運営の事例を紹介する。墨田区側では隅田公園愛護会所属の各町会と芸妓組合の屋台が営業している。

（1）隅田公園の管理と隅田公園愛護会

【隅田公園と花見の範囲】

隅田川沿いの花見名所の護岸は、「区立隅田公園」⁵⁾として整備され、水際には遊歩道も設けられており、この範囲が花見の散策域となっている。台東区側は、吾妻橋から桜橋を越えて今戸中学校の手前あたりまで、墨田区側は東武鉄道の陸橋から川上へ向かい、言問団子店舗の手前までの護岸空間である。兩岸とも細長い形をした公園となっている。対岸の公園に行く場合には車両の通行を禁止している桜橋を渡ると歩行者域に制約のある他の橋よりもゆったりと歩ける。このためか、イベントの中には桜橋中央で行われるものもある。向島界限では、この隅田公園の美化につとめる「隅田公園愛護会」を結成している。

【隅田公園愛護会】

隅田公園愛護会（以下、愛護会とする）は、1978年（昭和53）に、向島一丁目町会、向島二、三丁目町会、向島二丁目陸町会、向島五丁目西町会のそれぞれの役員が発起人となり結成された（設立総会は1979年/昭和54）。墨田公園の美化（美化清掃・桜の木の保護・園内パトロール等）が会の目的であり、毎月第2日曜日を隅田公園愛護の日と定め、各町会が担当する隅田公園の区画を清掃したり⁶⁾、適宜一斉清掃を行っている。墨田区は愛護会の活動について助言をするなどの体制をとっている。区の要請を愛護会が受けて行う花見行事への出店は、1979年に現在の和風公園（隅田公園内日本庭園）で実施された「隅田公園桜まつり」から始まったという。それまで有志の町会が「花見客への便宜供与」として三囲神社境内で甘酒を配り好評を得ていたが、一部の先行実施ではなく、きちんと体制を整えて行うべきとの意見もあり、愛護会全体での模擬店屋台の運営に至ったという。1980年（昭和55）1月には、墨田区と愛護会の間で「隅田公園愛護協定」が結ばれ、公園の管理を愛護会が任されるようになり、花見への出店協力も、協定により確保されるようになった。

愛護会は町会としての加入であるため、その構成員は、所属各町会会員すべてを指すが、協力者を募りにくい町会では、町会の役員だけが実質的な愛護会会員として動いているケースもある。1998年（平成10）の愛護会会長は向島五丁目西町会会長が務めている。会長は区からの連絡調整を代表して受ける。その他の各町会会長や役員は、愛護会会議に出席し、各町会構成員に状況を伝達する。また、愛護会会長の補佐は、各町会会長、役員が行う。愛護会会長の話では、こういった対処は町会が愛護会を結成して加入した経緯から、当然のこととしてとらえられている。

(2) 花見屋台の運営

1998年(平成10)の花見の屋台運営についての地元への聞き書きと観察をもとに、花見の屋台の設営や模擬店の運営について述べる。

【花見行事の準備とスケジュール】

「平成10年墨堤さくらまつり」出店についての、墨田区、愛護会(町会)が行った花見行事の準備と実施の概要は、次のとおりである。

2月5日 区主催のさくらまつり会合(愛護会内町会長出席⁷⁾) 於: 墨田区役所

2月9日頃 ぼんぼり協賛者募集

3月6日 愛護会総会 於: 須崎会館

3月上旬 公園内ぼんぼり用電気架線配線(電気店)

3月15日 ぼんぼり設置、屋台(模擬店: 以下同)組立、水道仮設(向島一丁目町会)

3月20日 ぼんぼり設置、屋台組立(向島二, 三丁目町会)

屋台組立(向島二丁目睦町会)

3月22日 ぼんぼり設置、屋台組立(向島五丁目西町会)

ぼんぼり設置(向島二丁目睦町会)

3月24日 墨堤組合茶席設営

* 3月25、6日頃が開花。27日から「まつり」

3月27日 区のテントチェック、開店

* 20日以降随時ガス・電話設置、27日頃から開店

4月11日 向島一丁目、向島二, 三丁目出店最終日

4月12日 向島一丁目、向島二, 三丁目出店屋台解体

* 4月11日を最終日として、各町会はその前あたりから随時閉店・屋台解体、以降各町会等で反省会・慰労会実施

このうち、3月6日の愛護会総会が、実質的な墨田区、本所保健所、愛護会三者の最終打ち合わせ会であり、現愛護会会長の所属町会の施設である須崎会館で行われた。愛護会の町会役員は全員出席した。議題は、保健所からの各模擬店屋台衛生管理者への注意事項や管理者表記の掲示についての説明、出店に設置する愛護会看板の新調についての討議、ゴミの収集方法とゴミ箱の設置についての意見交換、その他準備スケジュールの最終



【写真5】墨田区と愛護会、保健所等の打ち合わせ
(於: 須崎会館 1998.3.6)

確認が行われた【写真5】。当日区役所が提示した「平成10年墨堤さくらまつり実施企画書(案)」【資料1】には、行事の目的、主催、協賛予定者、期間中のイベントなどが記載されている。同（案）では、さくらまつりの開催期間は「開花中」と説明しており、1998年（平成10）は3月15日から占用申請をするとの説明があった。これらの情報は前触れとして各町会にも入っているようで、先陣を切って3月15日に屋台の設営に入った向島一丁目町会は、すでにこの総会日前には町内への設営日の声掛けを済ませている。

【資料1】総会当日配布「平成10年墨堤さくらまつり実施企画書（案）」を転載

●開催期間

期間は例年同様「開花中」とし、3月中旬から占用申請する。

桜橋デッキスクエアおよびリバーサイドホール等に於けるイベントは、4月5日に行う。

●スケジュール

3月中旬 占用開始（テント等設営）

〃 ポスター掲示（主要駅・町会・協賛企業・区事業所・その他）

4月5日 イベント実施（桜橋デッキスクエア・リバーサイドホール等で実施）

4月12日 かっぱれ踊り（桜橋橋上で実施）

4月19日 早慶レガッタ

開花中 模擬店、向嶋芸妓茶屋、ござ無料貸し出し

●イベント内容

民謡流し踊り・桜橋～枕橋間の墨堤通り

午前11時～ 日本舞の会

午後1時～ 墨田区民踊連盟

桜の舞 ・リバーサイドホール内ステージ

午前11時～ 墨田区民踊連盟

午後1時～ 墨田区日本舞踊協会

和太鼓響演 ・桜橋橋上（デッキスクエア）

午前11時～ 区内和太鼓団体（10団体）

午後3時

かっぱれ踊り ・桜橋12日午後1時～美寿々会両国支部⁸⁾

早慶レガッタ 19日

【資料1】の「実施企画書（案）」では、区役所はさくらまつり終了日については具体的に触れていない。会議の席上でもとくに指示はなかった。この企画案は、経験則から気候により大幅に変わる開花期間に配慮して作られている。各町会は、予測される開花期間の中で、花冷え時の人の出足、用意した出店の材料の残り具合、町内からの協力要員の獲得具合によって、それぞれ独自に日々の模擬店の運営規模を判断し調整していく。このため、各町会店舗の休業日や閉店日にはばらつきがあり、全店とも「○

曜日定休」といった統制はない。また、同（案）には花見の催事の他に早慶レガッタがイベントして併記されている。早慶レガッタは同じく春の桜の時期の一大イベントであるが、別途チラシやポスターが掲示される独立したイベントである。施設などの場所貸しをするため隅田公園愛護会として当然掌握しておくべき事項なのだが、ここでは出店期間の一つの目安としてレガッタをとらえている。「レガッタ開催日の前あたりで出店を畳むのが通例」との話であり、このため会議資料に記載している。

各町会は「開花期間」というきわめて曖昧な条件のもとで大勢の来訪者を見込みキャンペーンをはる催事に、およそ2週間にわたって模擬店を営業していく。町会の臨時営業屋台と書くとあくまで素人の集団であるが、実際には玄人はだしの機転や技術を発揮している。それだけの連絡体制や事務能力がないと運営は難しい。会員相互のつながりが密接であり、各人の特性をよく理解した付き合いを普段から維持しているからこそ実現できるのだろう。

以下どのように町会個々の仕組みがあり分担がなされているか、墨田区役所側から最も近い位置の向島一丁目町会の例で見てみよう。

（3）向島一丁目町会の組織と花見の模擬店屋台運営

【隅田公園愛護会 向島一丁目町会の組織】

向島一丁目町会（以下、向一町会）区域には、調査時点で約500世帯が居住している。向一町会は、1～23までの地番が10に地区割りされており、さらにその中の居住世帯を班分けしている（表1）。各地区には地区委員が1名、また、その下の班には班長が各1名定められている。

【表1】向一町会地区割り表

第1地区（3/4/5/6/番）	3ヶ班	第6地区（14/15番）	5ヶ班
第2地区（1/2/7番）	3ヶ班	第7地区（16/17番）	4ヶ班
第3地区（8/9/23番）	4ヶ班	第8地区（18/19番）	4ヶ班
第4地区（10/11番）	4ヶ班	第9地区（20/21番）	2ヶ班
第5地区（12/13番）	4ヶ班	第10地区（22/23番）	2ヶ班

※向島1丁目は範囲が広いため、地番としての23番の一部以降は小梅1丁目町会加入対象。

役員組織は、会長（1名）、副会長（5名：若干名）、会計（2名）、総務（2名）、監査（3名）、常任委員（8名）、地区委員（10名）で構成される。常任委員には、防犯、防火、交通、文化、衛生、厚生、調査、広報のさまざまな役職がある。かなり大規模な組織であり、河川の氾濫に備えた防災や、花見行事、全国的に名高い隅田川花火大会にも対応可能な体制が整えられている。これらの役員が、愛護会や出店の連絡に率先して関わっている。また、町会構成員で構成された年齢集団や祭り集団として、向一宮元睦会（祭礼）、向一婦人会、向一青年会、向一児童会、本所消防団、消火隊隊員、向一福寿会（老人会）、向一寿楽会（老人会）がある。向一町会は老人会が2つあり、調査時、周辺の町会から「（町会の規模が）大きいから老人会が2つもあって（催事が）まわしやすい」との声もあった。シルバー世代の人材の活躍が著しいことがわかる。

【花見屋台の運営と役割分担】

向一町会の屋台運営には、花見行事の表舞台である隅田公園の出店と、東武伊勢崎線高架下に位置する、向一町会会館（以下、会館とする）の2カ所の拠点がある。会館は、屋台に利用する備品の管理や町会の打ち合わせ、また、牛嶋神社礼大祭では向一町会の神酒所などに用いられている。2階建ての会館には花見屋台や諸行事に使用するテント、鍋、ガスコンロ、販売商品陳列のための台等の備品が保管されており、かなりの規模の収納力がある。町の鳶職が以前は手配してくれていたという商品陳列兼用の冷蔵庫などは、まず、会館に届けられる。向一町会で花見に使用する物品のうちリース品は、この冷蔵庫と屋台来客用テーブルの脚に使用するビール瓶の運搬用ケース、会館1階に仮設するガスコンロ一式だけで、残りの資材は町会の備品で大体間に合うという。会館では、屋台運営時の町会スタッフの休憩や、屋台だけでは間に合わない「おでん」の仕込み作業、焼きそば用のキャベツ刻みや握り飯作り、当日の運営スタッフのまかない食の炊き出しなどが行われる。また、屋台内に入りきらない販売用商品のストックなども収納している。屋台テントの設営は、町会員4,50人程度が参加して行われる。町会役員が作業全体の指示にあたり、青年会・睦会・福寿会・寿楽会役員とともに資材運搬や組み立て作業を行う【写真6】。そして、婦人会・児童会役員はこうした作業時の炊き出しと、当日の調理品の確認を行う。会館を含めた花見店舗の運営の動きには、綿密な役割分担があり、町会役員、町会内の諸組織を総動員してあたっている（【表2】参照）。

屋台は、雨天で客足が少ない場合など、状況により開店時間等に変化があるが、10時～20時が営業時間である。晴天時は店内の準備状況の確認を兼ねて9時半頃からあける場合もある。あわせて、会館は住み込みの管理人が朝6時半から鍵を開け、役員等が出入りできるようにする。

屋台の当番は、客足が絶えない場合、昼食、夕食も屋台内で立ったまま食べねばならない程忙しい【写真7】。売り子のローテーションは9時半～16時が基本であるが、参加員数が多い年は、9時～13時、13時～17時の二交代制も検討することがある。大体7人でまわして1週間に3回出る。20時の閉店間際になると、本日終了の放送を流し、公園全体でぼんぼりの電気を消し、客の追い出しをはかる。その後、商品の仮片づけや清掃をする。とくに店舗の戸締まりは簾や鉄パイプを用いて頑丈に行うため、



【写真6】出店テントの組み立て作業
（向一町会 1998.3.15）



【写真7】出店内のまかない夕食 立ったままで食事
忙しい時間帯（向一町会 1998.4）

【表2】屋台営業の役割分担（責任者は1998年/平成10の担当）

役割	担当（ ）内責任者	作業内容等
総括係	町会役員（町会長）	
売店係	睦会、福寿会、寿楽会、（町会副会長A）	店頭販売担当
会計係	町会役員（町会副会長B）	屋台（模擬店）での会計分を担当
備品商品係	町会役員（町会副会長C）	テント、備品、ビール箱などの管理・調達
予約係	町会役員（町会総務A）	客席の予約調整
音響責任者	町会副会長D	案内放送・BGM用音響機器設置
設営係	青年会、児童会、睦会、福寿会、寿楽会、（町会総務B、調査部長）	屋台の設営他（力仕事あり）
食事・おでん係	婦人会	まかない料理製作、販売用おでん煮込み等
客席への注文取り・注文品運び	児童会役員	缶ビールの梱包材の段ボール箱の開封後の薄い切れ端（四方に低い立ち上がりあり）を盆に転用して品物を運ぶ。
おにぎり・新香係	（婦人会副会長）、婦人会会計監査、婦人会委員	販売用おにぎり炊き出し
商品仕入れ係	町会役員全体で右記仕入れを分担	焼きそば麺、さつまあげ、がんも、蒟蒻、竹輪、昆布、フランクフルト、ケチャップ、胡椒、ソース、醤油、サラダ油、練からし、鶏卵、漬物、キャベツ、割箸、ポリ皿（PSP容器）、つまみ菓子、おでんの素

屋台スタッフの作業終了は21時近くなる。このため、小さい子供がいる児童会の役員は、夜間はなかなか手伝いにくい。

（4）衛生面の配慮等

さくらまつりの町会の模擬店は、花見客への好意からの便宜供与が目的であり、営利目的の営業とは異なる趣旨で始まった臨時出店である。このため、保健衛生を考慮した営業品目の選定や価格の最終的な設定は墨田区との調整により決定する。敷地面積の制約もあり、各町会テントは既製サイズ（おもに2K×3K）のテント2張りまでと定められている。既製品の範囲内ならばどの規格のテントを用いるかの規制はない。各町会は立地に合わせ規格品のテントのレベルを大小選んで工夫するなど、定められた敷地に2つのテントが収まるよう設営をしている。

テント（屋台）設置予定地裏手には、花見屋台のために設けられた飲料水の散水栓が敷かれており、向島一丁目町会の屋台も簡単な水道管仮設工事だけで、内部で水道水が利用できるようになっている。これは、愛護会や近隣町会が区に要請して実現したものだという。臨時の営



【写真8】店先での服装 アサヒビールのお藤元
Asahiのエプロン着用（向一町会 1998.4.3）

業とはいえ多くの食物を扱うため、屋台営業は保健所の指導にのっとり作業されており、売り子もエプロンや割烹着、三角巾、帽子の着用など、模範的な身だしなみで店に立つ【写真8】。

（5）屋台の現場調査の方法

調査では、各町会のこのような屋台について、復原展示を想定しておおよその高さ、面積等を調査し⁹⁾、屋台で使われている道具類、販売商品や位置などもあわせて調査しイラスト化した。記録作業に現場での測量や写真实測ではなくイラスト図の作成を採用した理由は、実測図面の作成や記録写真の撮影の際、複数人が営業中の店舗内へ立ち入ることに難色を示す屋台関係者もいたためである。婦人会からは「保健所の査察ではあるまいし」との表現で異論が出ていた。結果、心理的な負担が少ない方法として、調査者の1人がイラスト図を描き、並行して模擬店営業に迷惑をかけないレベルの写真撮影を行うこととした。あくまで見て描く—ことに拘泥したのは、実測図にせよイラストにせよ、描く—ということによる細かな観察を重視したためである。花見客の混雑や雰囲気を盛り上げるために流している大音量のBGM下で終日作業するのは骨の折れるものであった。しかし、「うまく描けているかい？」等温かい言葉をかけていただくなど、おおむね打ち解けて作業ができた¹⁰⁾。

では、各屋台のイラスト図を用いて、そぞろ歩きの花見客気分で店舗の概観を見てみよう。

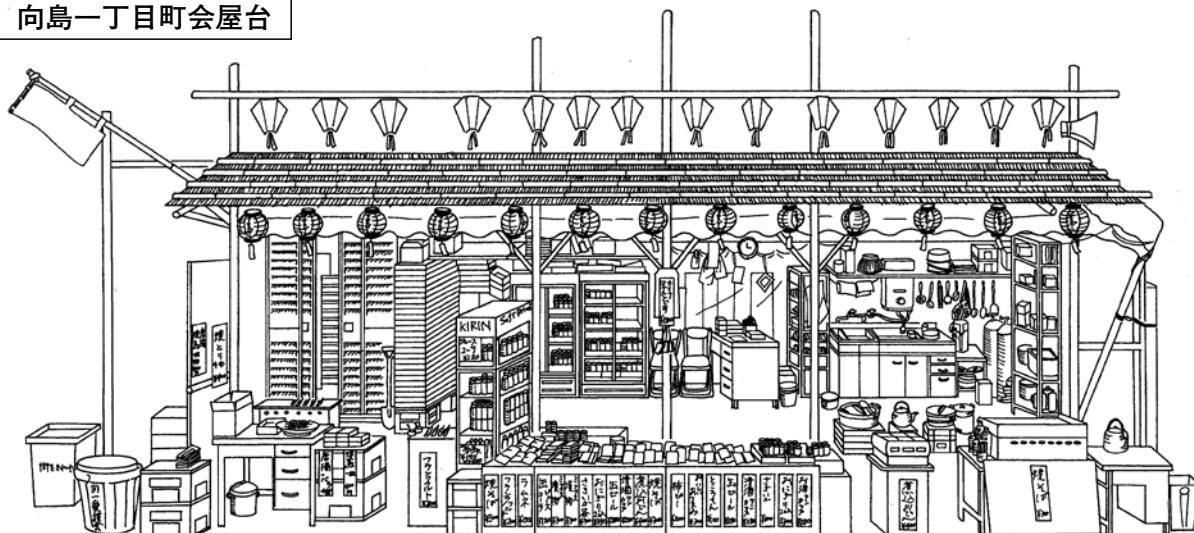
（6）屋台のいろいろ

【イラストで見る各店舗と販売商品】

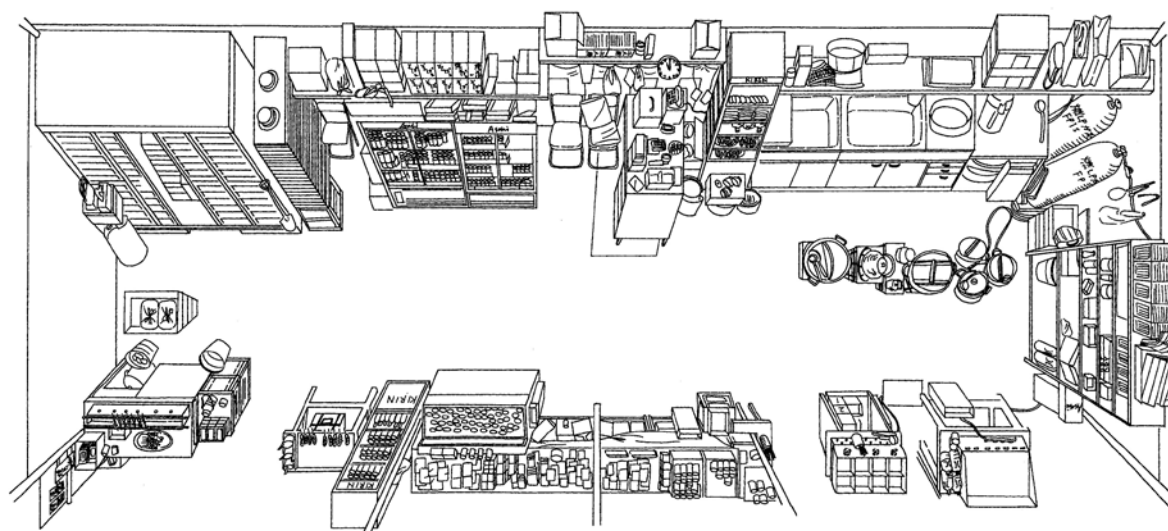
—屋台イラストについての例言—

- 1) 1998年（平成10）の調査時に墨田区側隅田公園に出店していた屋台5店と台東区側隅田公園に出店していた1店舗の正面と平面の略図である。縮尺は均等ではない（既製テントの大きさ2K×3K、既製プレハブ建造物の大きさなどからおおよその大きさを判断する）
- 2) 同じ屋台でも正面からの立面図、内部の平面図を描いた日時が異なり、立面・平面の陳列商品や位置に違いがあるものがある。
- 3) 実見できなかった部分や描きにくい部分には、スモークをかけた箇所がある（一部平面図上の桜の幹など）。
- 4) 各日の混雑の度合いによって、イラスト作成のための各屋台内への立ち入り許可範囲が異なり描きやすさに差があった。
- 5) このイラスト図は、記録および展示の参考とするだけでなく、展示を見た来館者が塗り絵として利用することも考えた。塗り絵という能動的な行為で模擬店・運営についての想像力を掻き立てる仕掛けとしてする意図である¹¹⁾。
- 6) イラスト解説および本稿全般において、提供商品を説明する際使用している「調理」「準備」「加熱」等の用語はあくまで一般的な表現として用いており、保健所の臨時出店や仮設店舗についての指導で用いる用語の定義を踏まえて使用しているものではない。各店舗はさまざまな審査をクリアし、当時の法的基準や衛生指導を遵守して営業していたことをお断りしておく。

向島一丁目町会屋台



【図2】正面図（よしず張りの庇で風情を出している）

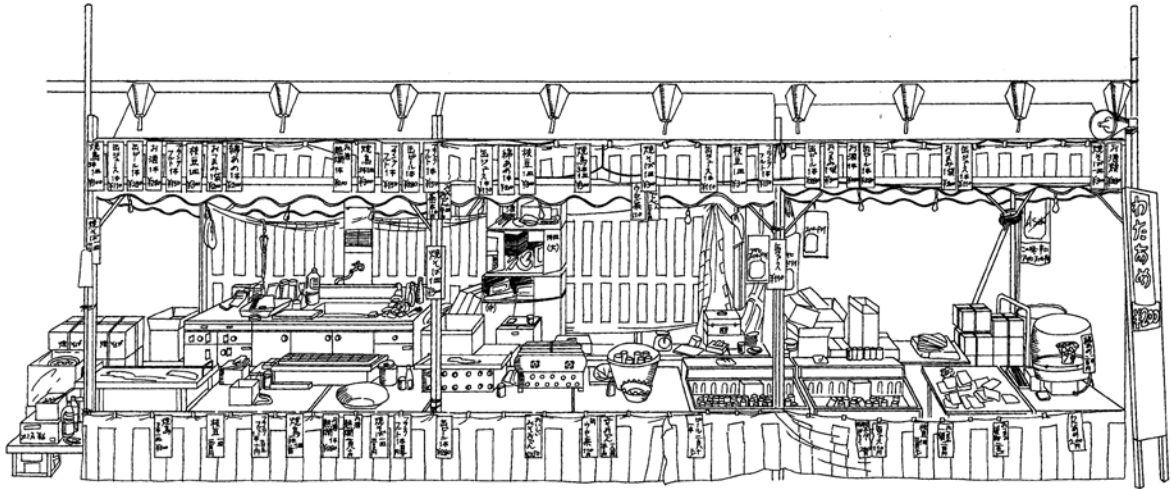


【図3】平面図

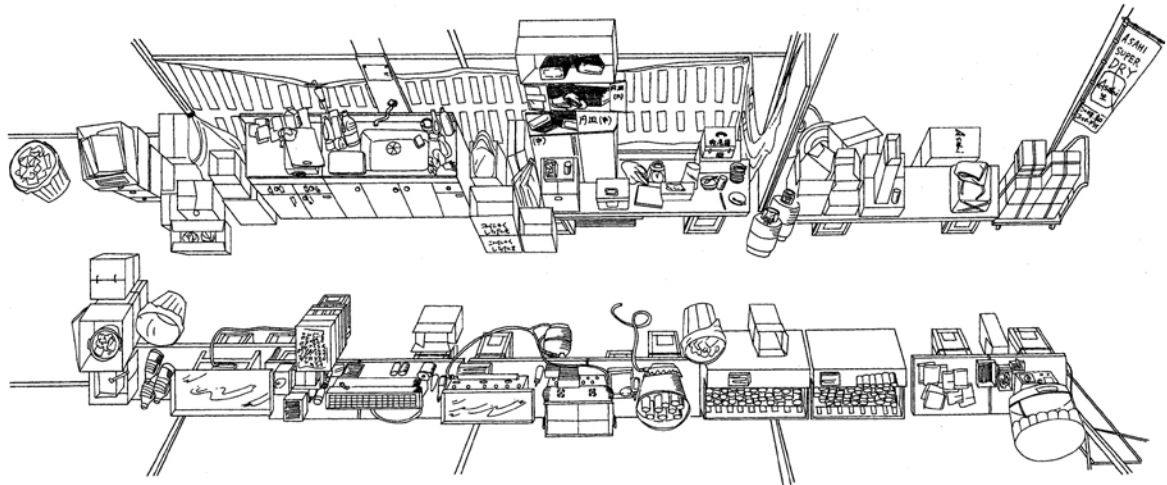
【表3】販売品目一覧

品名	現地名	単位	価格 (税込み)円	備考	品名	現地名	単位	価格 (税込み)円	備考
1 焼鳥	焼鳥	4本	400	串刺し仕入れ現場焼き	21 世界の木の实		1袋	—	
2 鳥唐揚げ	唐揚げ	1パック	400		22 なとりソフトさきいか	さきいか	1袋	300	
3 フランクフルト	フランクフルト	1本	200	現場焼き・からしケチャップ付	23 なとり北海いかくん	さきいか	1袋	300	
4 煮込みおでん	煮込みおでん	1杯	400	町会会館炊き出し	24 柿ピー	柿ピー	1袋	200	
5 焼きそば	焼きそば	1パック	300	現場調理	25 なとりさきいか漁火	さきいか	1袋	300	
6 ところてん	ところてん	1杯	100(150)		26 亀田製菓味すぐり	チョコ・ブリッツ	1袋	150	おかき
7 おにぎり	おにぎり	2個1パック	300	町会会館炊き出し	27 でん六豆六くん	チョコ・ブリッツ	1袋	150	豆菓子
8 漬物	ミックス漬物	1パック	300		28 なとりチーズ鱈	おいしいおつまみ	1袋	300	
9 ワンカップ菊正宗	お酒(清酒)ワンカップ	1本	280	現場熱燗	29 福寿バターピー	バターピー	1袋	200	
10 アサヒスーパードライ生	缶ビール	1缶	280		30 なとり味のいかげそ	さきいか	1袋	300	
11 メルシャンHi-chu-hiレモン		1缶	—		31 なとりつまみ鱈	おいしいおつまみ	1袋	300	
12 キリンレモン	缶ジュース・コーラ	1本	120		32 なとりビーフジャーキー	おいしいおつまみ	1袋	300	
13 キリン煎	缶ジュース・コーラ	1缶	120	緑茶	33 なとりチーズかまぼこ	おいしいおつまみ	1袋	300	
14 コカ・コーラ	缶ジュース・コーラ	1缶	120		34 グリコブリッツロースト	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
15 きりり	缶ジュース・コーラ	1缶	120	オレンジジュース	35 グリコブリッツバター	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
16 午後の紅茶	缶ジュース・コーラ	1缶	120	紅茶	36 ロッテコアラのマーチ	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
17 ラムネ	ラムネ	1瓶	150	瓶込み150円・瓶50円	37 グリコチョコレートコロシ	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
18 ハウスポテトチップスのり塩	チョコ・ブリッツ	1袋	150		38 グリコクリームコロシ	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
19 カルビーかっぱえびせん	チョコ・ブリッツ	1袋	150		39 グリコニューボッキー	チョコ・ブリッツ	1箱	150	
20 などりのしかわはぎ	おいしいおつまみ	1袋	300		40 [カメラ写ルンです]	カメラ写ルンです	1点	1800	

向島二, 三丁目町会屋台



【図4】正面図

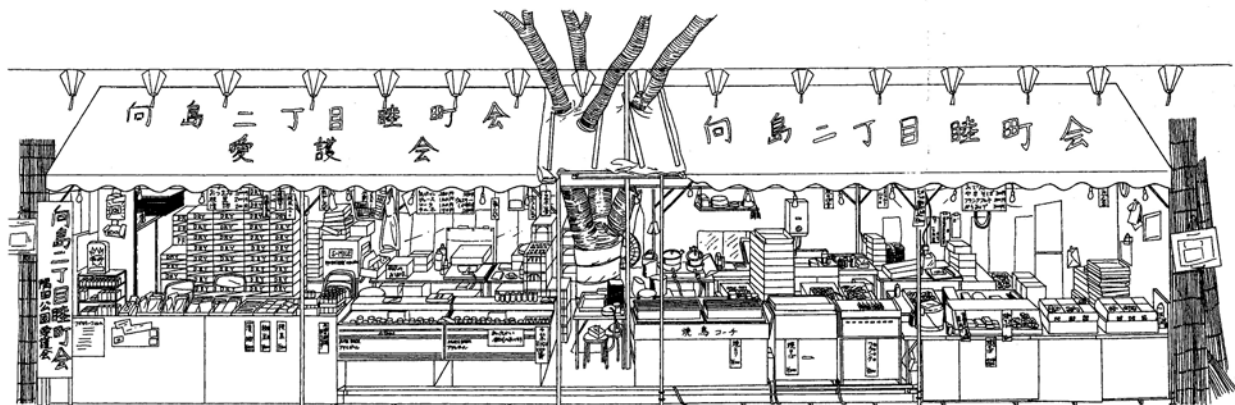


【図5】平面図

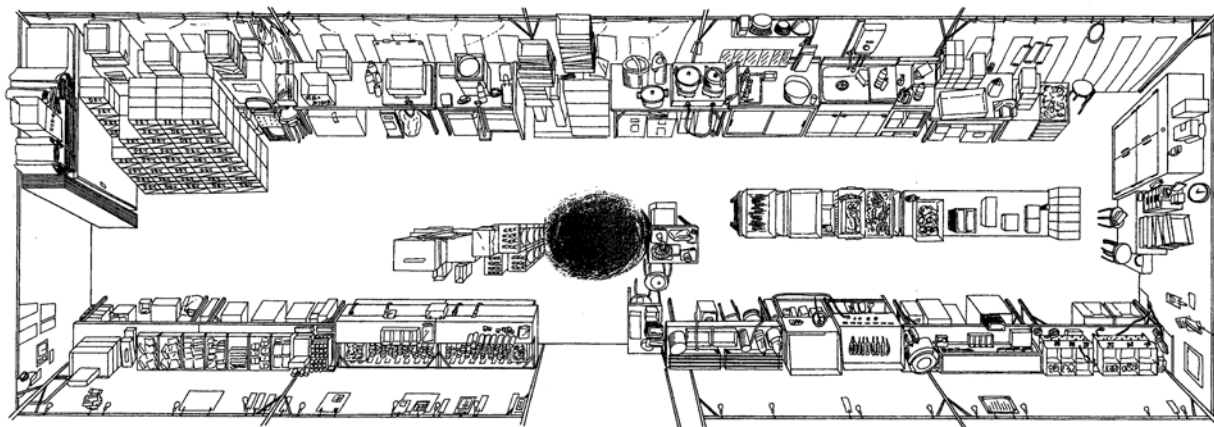
【表4】販売品目一覧

	品 名	現 地 名	単 位	価 格 (税込み)円	備 考
1	焼鳥	焼鳥	3本	300	串刺し仕入れ現場焼き
2	フランクフルト	フランクフルト	1本	150	現場焼き・からしケチャップ付
3	枝豆	枝豆	1皿	300	
4	綿あめ	綿あめ	1本	200	現場製作
5	みそおでん	おいしいみそおでん	1人前	300	現場煮込み
6	焼きそば	焼きそば	1皿	300	現場調理
7	アサヒスーパードライ生	缶ビール	1缶	280	
8	菊正宗Super Cup	お酒熱燗	1本	280	現場熱燗
9	[ウーロン茶缶]	缶ウーロン茶	1缶	110	
10	Asahi十六茶	缶ジュース	1缶	110	
11	バヤリスオレンジ30	缶ジュース	1缶	110	
12	Asahi Mitsuya cider	缶ジュース	1缶	110	
13	[缶コーヒー]	缶ジュース	1缶	110	
14	菊正宗Super Cup	お酒類	1本	280	
15	コカ・コーラ	缶ジュース	1缶	110	
16	[さきいか]	おつまみ袋物	1袋	200	
17	[漬物真空パック]	おつまみ袋物	1袋	200	

向島二丁目睦町会屋台



【図6】正面図



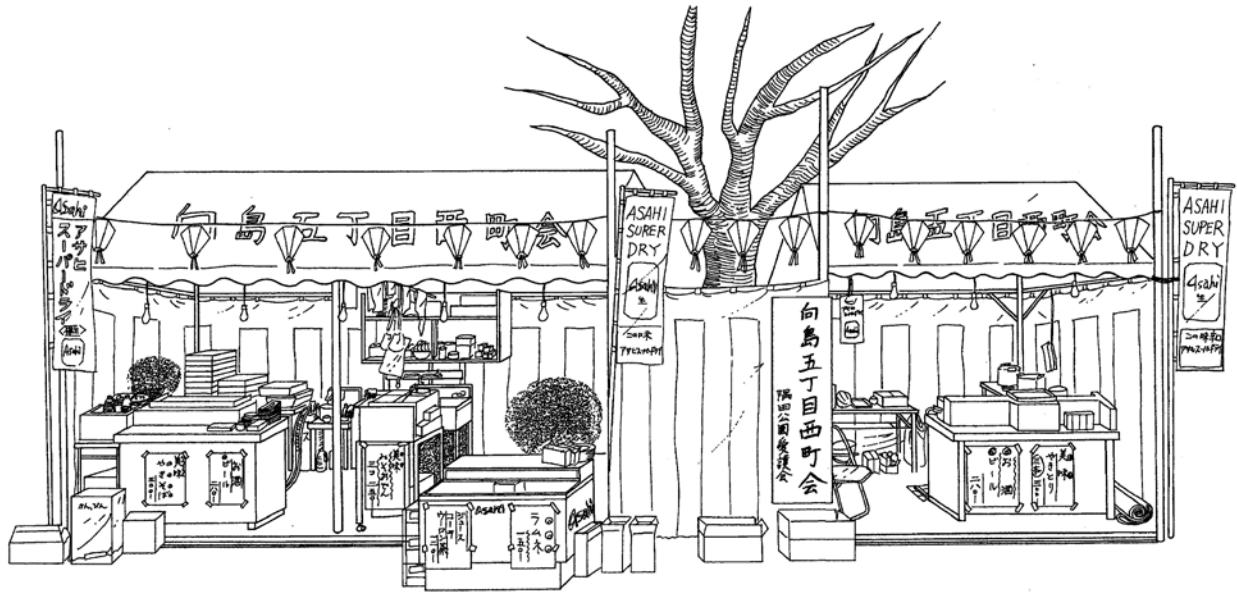
【図7】平面図（桜の木が中央にあり養生する形で設営）

【表5】売品目一覧

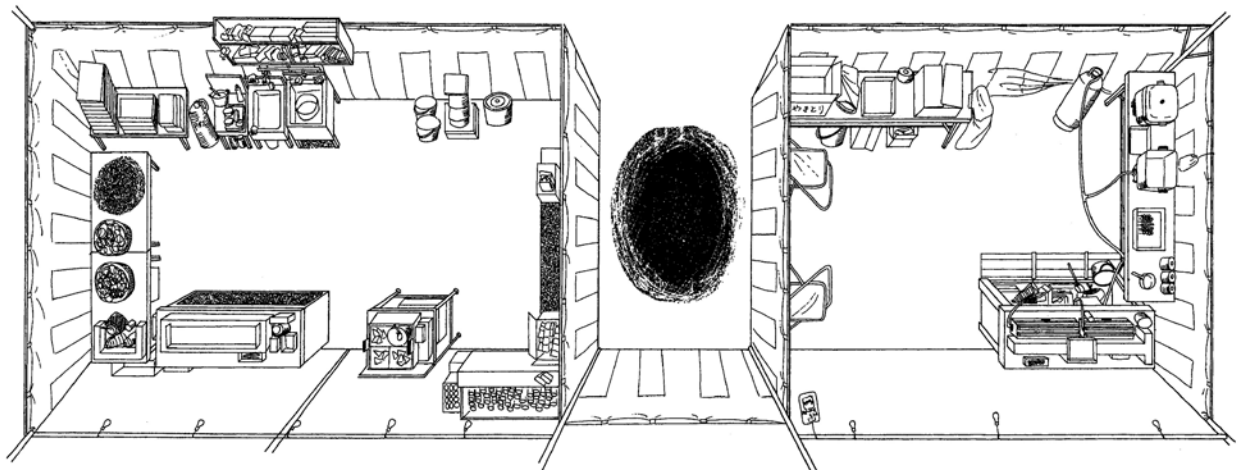
	品 名	現 地 名	単 位	価 格 (税込み)円	備 考		品 名	現 地 名	単 位	価 格 (税込み)円	備 考
1	焼鳥	焼鳥	1本	100	串刺し仕入れ現場焼き	19	伊藤園 お〜いお茶 緑茶	ジュース	1缶	120	ホットあり
2	フランクフルト	フランク	1本	200	現場焼き・からしケチャップ付	20	[鳥龍茶缶]	ジュース	1缶	120	ホットあり
3	枝豆	枝豆	1パック	200		21	[缶紅茶Teaco]	ジュース	1缶	120	ホットあり
4	漬物	漬物	1パック	200		22	コイケヤポテトチップスガーリック	おつまみ	1袋	200	
5	もつ煮込み	もつ煮込み	1人前	300	現場煮込み	23	コイケヤポテトチップスのり塩赤穂の天塩利用	おつまみ	1袋	200	
6	鳥唐揚げ	当店自慢唐揚げ	1パック	300	現場調理	24	チーズスティック(袋)	おつまみ	1袋	200	
7	おでん	おでん	1人前	350	現場煮込み	25	世界の木の实(ピスタチオ)	おつまみ	1袋	200	
8	焼きそば	うまい焼きそば	1パック	300	現場調理	26	羽衣珍味 焼きかわはぎ	おつまみ	1袋	200	
9	ウイスキー水割り	ウイスキー水割り	1杯	280	缶?	27	羽衣珍味 焼貝柱	おつまみ	1袋	200	
10	ワンカップ櫻政宗	お酒の熱燗	1本	280		28	羽衣珍味 どさんこいか	おつまみ	1袋	200	
11	ワンカップ櫻政宗	ワンカップ	1本	280		29	KAKI-I 柿の種ピーナツ	おつまみ	1袋	200	
12	Asahiスーパードライ缶	缶ビール	1缶	280		30	ピーナツ(袋)	おつまみ	1袋	200	
13	Asahi HiLiki	ハイリキ	1缶	280		31	フジカラーフィルム24X	24枚撮フィルム	1本	500	
14	バヤリスオレンジ30	ジュース	1缶	120		32	フジカラーフィルム36X	36枚撮フィルム	1本	600	
15	Asahi Mitsuya さわやかぶどう	ジュース	1缶	120		33	フジカラーフィルム	APS25EX2本セット	1セット	1200	
16	Asahi 鳥龍茶鳳凰	ジュース	1缶	120		34	Fuji Film 写ルンエース	フジカラー写るんエース	1点	1600	
17	Asahi ワンダ(コーヒー)	ジュース	1缶	120	ホットあり	35	Fuji Film 写ルンエース	書きこめ〜る	1点	1700	
18	ラムネ	ラムネ	1本	150	瓶込み価格	36	Fuji Film 写ルンエース	パノラマ切替え	1点	1900	

*他にコーラあり

向島五丁目西町会屋台



【図8】正面図



【図9】平面図（桜の木が中央にあり養生する形で設営）

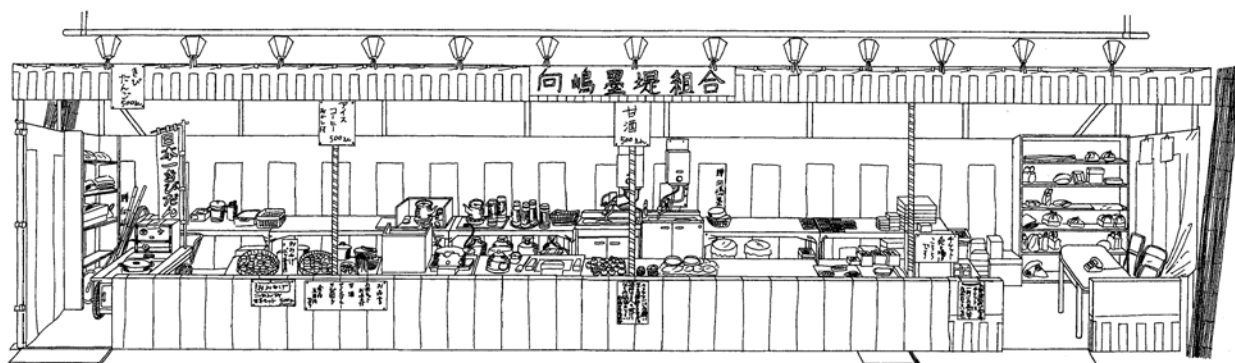
【表6】販売品目一覧

	品 名	現 地 名	単 位	価 格 (税込み)円	備 考
1	焼鳥	美味やきとり	3本	300	串刺し仕入れ現場焼き
2	みそおでん	美味みそおでん	3個	250	現場煮込み
3	焼きそば	美味やきそば	1パック	300	現場調理
4	ラムネ	ラムネ	1本(瓶)	150	瓶込み価格
5	缶ジュース	ジュース	1缶	120	
6	コーラ(缶)	コーラ	1缶	120	
7	アサヒスーパードライ生	ビール	1缶	280	
8	[清酒ワンカップ]	お酒	1本	280	

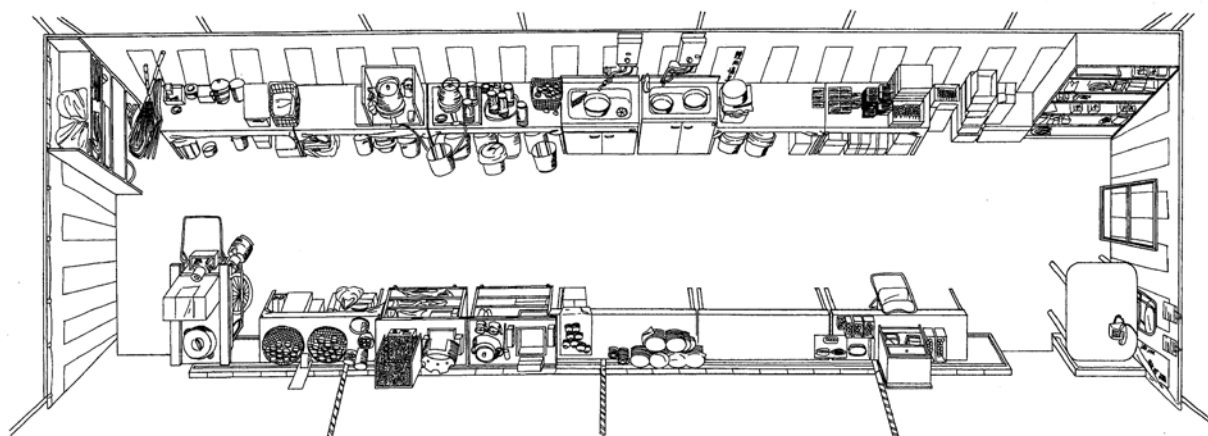
*飲料の種類の詳細は未調査

向島墨堤組合茶席(芸妓茶屋)

* 高速高架下を利用して設営



【図10】正面図



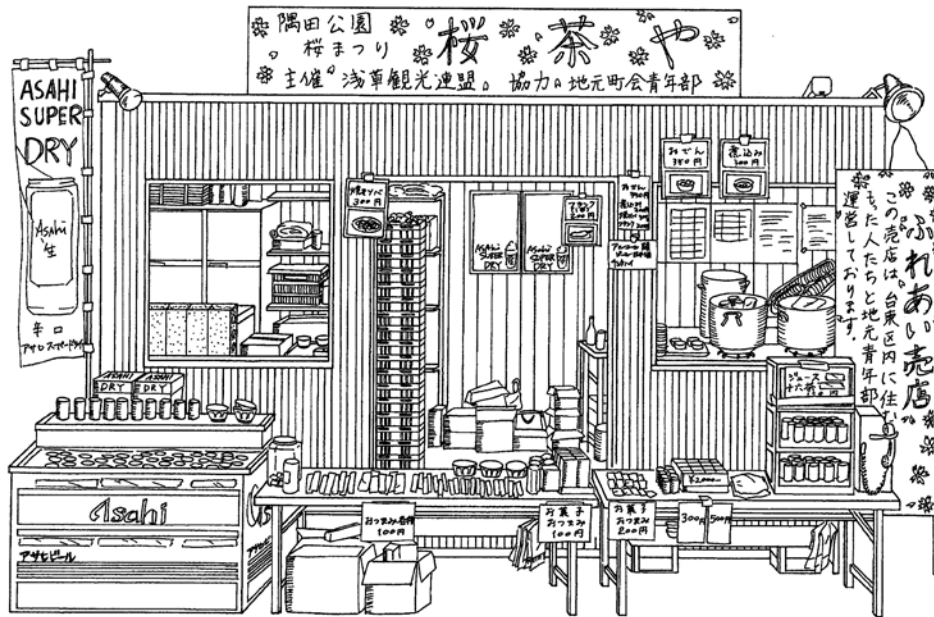
【図11】平面図

【表7】販売品目一覧

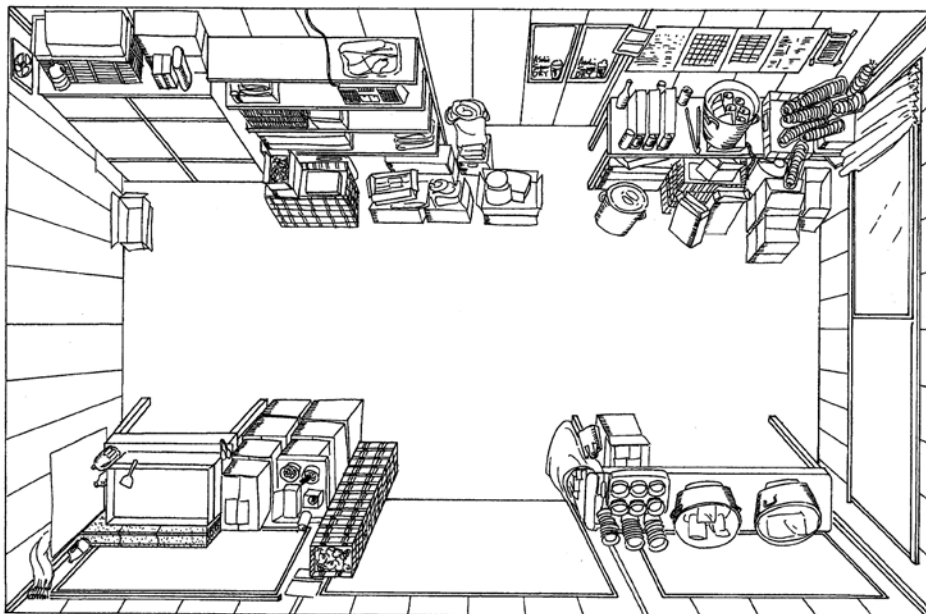
	品 名	現 地 名	単 位	価 格 (税込み)円	備 考
1	アイスコーヒー	アイスコーヒーお菓子付き	1杯	500	柿ピーナツ小袋等
2	きびだんご(吉備子屋製)	きびだんご	1皿3本	500	現地湯煎きな粉まぶし
3	甘酒	甘酒	1杯	500	
4	串団子(餡・甘辛醤油)	おみやげこしあん甘辛セット	2パック	500	こしひかり団子
5	お茶	お茶セットお団子付き	1杯・1皿1本	500	草餅あんこ・みたらし団子より 選択

桜茶や（台東区）

*簡易プレハブを活用



【図12】正面図



【図13】平面図（調理空間）

【表8】販売品目一覧

品名	現地名	単位	価格 (税込み)円	備考
1 Kibun特選おでん110	おでん	1杯	350	レトルト現地湯煎
2 ニチレイ牛もつ煮込み90	煮込み	1杯	300	レトルト現地湯煎
3 フランクフルト	フランク	1本	200	現場焼き
4 焼きそば	焼きソバ	1パック	300	現場調理
5 Asahi スーパードライ生	ビール	1缶	—	
6 Asahi 烏龍茶	ジュース類	1缶	110	
7 Asahi ワダ	ジュース類	1缶	110	コーヒー
8 Asahi Mitsuya cider	ジュース類	1缶	110	
9 Asahi HiLike	チューハイ	1缶	—	
10 Asahi 十六茶	ジュース類	1缶	110	
11 バヤリスオレンジ30	ジュース類	1缶	110	
12 Asahi さわやか麦茶	ジュース類	1缶	110	
13 Super Can Chu-Hi	チューハイ	1缶	—	
14 ワンカップ大関	日本酒	1本	300	
15 ポケモンゲットけん玉		1箱	—	
16 ウエルカムミッキーマウス ココア		1箱	—	
品名	現地名	単位	価格 (税込み)円	備考
17 Pringles Light	お菓子・おつまみ	1筒	200	ポテトチップス
18 なとり Torio pack	お菓子・おつまみ	1袋	500	バターピー、柿の種、さきいか
19 カルビーかっぱえびせん	お菓子・おつまみ	1袋	—	
20 カルビーかっぱえびせんサラダ	お菓子・おつまみ	1袋	—	
21 味付けビー	お菓子・おつまみ	1袋	—	
22 ロッテコアラのマーチ	お菓子・おつまみ	1箱	—	
23 おつまみフライビズ	お菓子・おつまみ	1袋	—	
24 おつまみバターピー	お菓子・おつまみ	1袋	—	
25 さきいか	お菓子・おつまみ	1袋	100	
26 うまい棒ココア味	お菓子・おつまみ	1本	100	
27 チーズかまぼこ	お菓子・おつまみ	1本	100	
28 ハートチップル	お菓子・おつまみ	1袋	100	
29 いか串刺し		1本	100	いかみりん干し串刺し
30 [その他小つまみ多数]			100	
31 Fuji Film New写ルンです		1点	2000	

【屋台の基礎構造等概観】

イラストにあるとおり、屋台のうち、向一町会、向島二、三丁目町会、向島二丁目睦町会、向島五丁目西町会の屋台は、所有しているテントを利用したものである。テントには各町会や婦人会の名称を大きく幌布地に印字しており、交通安全週間の監視や町会主催の各行事、その他の協力行事でも広く利用される使い慣れたものである。さくらまつりでは、かつて川風でテントが吹き飛ばされる事件があり、以降、鉄パイプを地面に打ち込んだものにテントの骨組みを固定し、安定性を高めている。鉄パイプやテントの鉄骨が桜の幹に接する場合や、テント内に桜が一部入り込むときには、桜の幹を養生し、桜の保護を旨とする愛護会の面目を見せている。

壁面は、ベニヤを打ちつけたもの、紅白幕を張っただけの簡易なもの、ベニヤの上にさらに紅白幕を張ったもの等各種あるが、閉店後、商品や資材をどの程度内部に残すかにより施錠の仕組みや壁面強化の度合いに差があるようである。側面は壁であれ側幕であれ塵除けとして必須である。どれも衛生面での設置基準を満たしている。

屋根はテント地をそのまま見せている町会や、向一町会のように、「風情を出す」と称して、よしずを軒先にせり出すように付加しているものもある【写真9】。地面に傾斜のある向島五丁目西と二丁目睦町会は、材木で土台を補強しベニヤ板の水平な床面を設けている。雨天に強い床面といえる。向嶋墨堤組合茶席（通称芸妓茶屋）は桜橋正面の高速道路高架の下に設置するため、テント等の利用はなく、鉄パイプの柱とベニヤ板の壁と床、紅白幕を壁にめぐらす構造である【写真10】。台東区側の桜茶やは箱形の簡易プレハブをそのまま利用した構造で、サッシ窓やドアがついている。近くに同様な簡易プレハブを設置し商品倉庫としている。

イラストに細かく表せなかったものに、テント内の貼り紙や商品計算検算表【写真11】、各テント内の照明がある。模擬店運営に携わる町会員の拠点は原則屋台のため、集合時間や解体の日時の連絡など、重要な事務連絡はテントに貼り紙で大きく貼り出す。また、各商品の価格の検算がしやすいように、どの町会も四方八方に厚紙に書いた価格検算表を貼っている。忙しい中での即座の計算の人為的ミスを防ぐ知恵である。例年大きく価格が変動するわけではないので、数年使用した年季の入った検算表もあり、一部を博物館の資料として収集した。



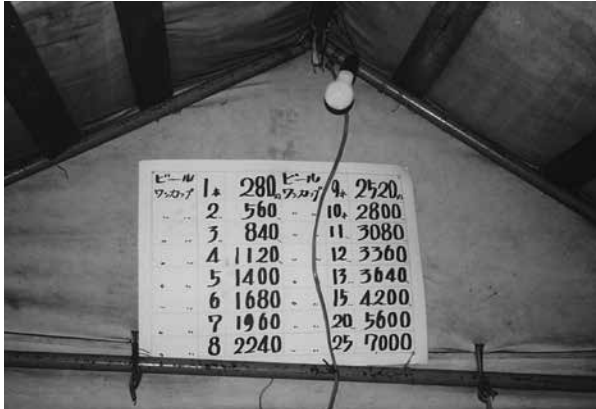
【写真9】隅田公園の出店テント（向一町会 1998.4）



【写真10】向嶋墨堤組合茶席（通称：芸妓茶屋 1998.4）

照明は愛護会の町会屋台は一様に裸電球の照明であり、向一町会ではテント内に4つの裸電球を用いている。その他、商品持ち帰り用の手提げレジ袋（アサヒスーパードライ生缶の文字入り）がテント骨組みや陳列機のあちこち取りやすいところに束で吊してある。

屋台の商品には、箱や袋に直接大きくマジックで価格を記入しているものが多い【写真12】。それを、テント内の価格検算表と照合して素早く計算できるように工夫している。



【写真11】 出店テント内価格検算表（テント妻部分）
随所に掲示あり（1998.3頃）



【写真12】 価格をマジックで袋菓子に直接書く
（向一町会 1998.4）

【屋台の物品配置】

次に、模擬店屋台内の商品以外の物品も含め、どんな物が屋台内にあるのか紹介したい。各屋台は商品販売、調理、商品管理等がやりやすいようにそれぞれに工夫を凝らしている。ここでは、運営主体の性格が異なる3つの屋台（向一町会屋台、向嶋墨堤組合茶席、桜茶や）について、店舗内部の物品、調度品を詳述する。この書き出しは、物の配置を知ることだけではなく、展示の際に準備する物の判断材料を得るために行っている。

3店舗は、町内会所持のテントの利用、高速道路高架下の利用、プレハブ利用とそれぞれ躯体の構造が異なる。テント利用者の中から向一町会を選んだのは、準備から撤収に至るまで各作業を事細かに見せていただくなど、より多くご協力いただいたためデータの充実度が高かったからである。

向島一丁目町会（向一町会）屋台物品配置（【図14-1, 2, 3】【表9】参照）

隅田川の最も南に位置する模擬店で（【図1】参照）、向島一丁目町会が愛護会の所属団体として運営している。【表9】が屋台内の物品一覧であり、これらの品物が店舗内に【図14-1, 2】に示すように用意されている。物の量が多いので【図14-3】に示したエリアに分けて特徴を示す。

エリア a（No.129～148, 299, 300） おでん・焼きそばエリア

焼きそば調理用鉄板台・おでん煮込み台【写真13】（いずれも特注規格の枠を台としている）を主軸に、焼きそばに使用するサラダ油、ソース、水の入ったペットボトルと調味料（青のり？）の缶がある。お

でん煮込み台の下には販売時に器として使用する発砲スチロール (PSP) 製椀 (二人前用) が用意されている。

エリアa-2 (No.249 ~ 267) エリア a の予備待機

七輪やガスかまどにアルミ鍋、鉄鍋、やかんをかけている。前面にある a エリアで提供する商品の準備待機場所。おでんの予備を保温して即座に補充することが可能。また、テント奥行きに対してほぼ中央部に位置するため、後背にある k, l, m エリアに設置の流しで鍋を洗う際も便利である。

エリア b (No.149 ~ 177) 予備品ストック・私物等まとめ

テント内部の右側面にはスチール棚を設置。サラダ油、ソース、焼きそば用トレー等のストック、アサヒスーパードライの缶の箱蓋 (盆として転用) のストック、発砲スチロール製保冷箱、台布巾、その他ストック品など雑多なものが置かれていた。

エリア c (No.77 ~ 128, 245 ~ 248, 298, 301) 飲料つまみ販売エリア

正面中央には焼きそば調理台と同様な鉄製枠を脚にし、上に板を載せた特注の商品陳列台【写真14】がある。台上向かって右からビール (【表3】内商品No.10)、日本酒 (【表3】No.9)、缶チューハイ (【表3】No.11)、漬物 (【表3】No.8)、つまみ類 (【表3】No.20-33)、菓子類 (【表3】No.34-39)、スナック類 (【表3】No.18, 19) の順に並べられている。陳列台上中央奥=売り手側には、合計額を計算するための算盤が2台、小銭を入れたプラスチック容器が置かれている。このエリアが最も多くの商品を扱っているため算盤がある。また、【写真11】にある価格表はテントのほぼ中央部にあたるこの場所からもよく見える。

エリア d (No.63 ~ 76, 273) 飲料、フランクフルトエリア

スナック類を並べている台の左側後方には、水を張った平置き型冷蔵庫 (通称ドブヅケ) にてビールを冷やしている。その左隣に縦型の営業用冷蔵庫があり、ソフトドリンク類 (【表3】No.12-17)、日本酒が入っている。左隣はこれも特注製作のフランクフルト調理台で、鉄枠の中に七輪を仕込み、鉄板をのせている【写真15】。脇には油引き用の丸バケ、それぞれタッパーに入った調味料



【写真13】 特注のおでん煮込み台
台下に発砲スチロール製の販売
時使用する白い容器 (1998.4)



【写真14】 商品陳列台の脚を組み立てる (1998.3頃)



【写真15】 特注のフランクフルト炙り
七輪を組み込んである (1998.4)

（ケチャップ、練りからし）が置かれている。

エリア e, f (No.45 ~ 62, 270 ~ 272, 302) 焼鳥エリア

正面左端には焼鳥用調理台がある。ここは特注の台ではなく事務机に焼鳥用コンロをのせている。手前に見本の焼鳥を皿に盛り、販売用のトレーを積み重ねている。

机の下には、ホーロー容器に入ったタレを置き、後方にはこれから焼く材料が菓子箱を積み重ねた台の上にのせられている。焼鳥調理台の右横にはアサヒビールの瓶ケースを重ね台にして、烏の唐揚げを並べて販売している。

エリア g, n (No.34 ~ 44) ストック（商品・客席資材）エリア

テント内部左後方には施錠式の簡易物置を設置し、ビールなど商品のストック置き場として使っている。その右隣にはビール瓶のケースの上にのせて客席机の天板とする合板を積み重ねている。人出や天候に応じて客席を設置するため、この時は中に収納してあった。

エリア h (No.1 ~ 17, 28 ~ 33) 冷蔵ストックエリア

エリア g, n の常温ストックエリアと並んで営業陳列式の冷蔵庫が2台並んでおり、ビール、チューハイ、カルピスソーダなどを冷やしている。店舗ファサードの冷蔵場所にここから移すことも、この場所から直接販売することも可能である。中央の事務エリアに近いのか、折り畳み椅子で左右挟まれている。立ち仕事の合間の休憩に椅子を使うようである。

エリア i (No.18 ~ 27) 棚上部ストックエリア

冷蔵ストックエリアの上には棚板を吊り、おでん用トレー、割箸、持ち帰り用レジ袋等のストックを保管している。位置が近いので、エリア h の冷蔵庫上に置くこともある。

エリア j (No.214 ~ 244) 事務エリア

テント内部中央。事務机が縦に置かれ、卓上金庫、電卓、小銭入れ用籠、電話機、メモなどが置かれている。壁の時計の横には電話番号一覧メモが貼られ、町会名簿やノートが吊してある。

エリア k, l, m (No.180 ~ 213, 278 ~ 289) 加工材料冷蔵・洗い場エリア

事務エリア右隣には、縦型の営業用冷蔵庫があり、焼きそばの麺、販売員用（販売用ではない）の飲料、フランクフルトが入っている。その右がステンレス製流しで、水道・シンクが2つある洗い場になっている。壁には瞬間湯沸かし器、布巾、玉杓子などの調理具がある。その横の調理台の上にはポットがある。流し台の上に吊られた棚板には、アルミ盆、ポリ製洗い桶、茶筒、販売員の手荷物などが置かれている。

エリア o (No.178, 179, 268, 269, 287) ガスボンベエリア

右奥にはLPガスのボンベが2台ある。洗い場壁面設置のガス瞬間湯沸かし器、おでん・焼きそばエリア、a-2エリアの鍋類の予備保温のためのガスはここから供給している。安全面を考慮し部外者の手の届かない所で管理している。

まとめると、この屋台は正面が販売エリアであり、ファサード中央に飲み物、乾きもののつまみ、菓子類の販売コーナーを設け、その両端を調理を要する販売品コーナーにして作業時の熱の分散を図って

いる。ガスボンベエリアに近い右側の販売品目＝「焼きそば・おでん」はガスを用い、左側のフランクフルト、焼鳥は炭火を使用する。中央の陳列台や調理台のほとんどはこの屋台のためにカスタマイズして作られたものである。

売り場の後背は、それぞれ売り子が後ろを振り向けば不足品を補充できる動線である。テント後方右側は、洗い場と燃料供給の場になっているが、店先との中間点に待機している（a-2エリア）鍋類は、ガス熱源による下ごしらえ加熱→正面販売エリアへの供給→空いた鍋の洗い場での洗浄処理、の流れを前後に物を渡してたやすく行える構造で、大変機能的に配置されている。向一町会のおでんの下ごしらえや焼きそばのキャベツ刻みなどの作業は原則町会会館で行いテント内での作業は少ないが、この洗い場は使いやすさを十分考えた配置となっている。左端の焼鳥・フランクフルトも同様な作業動線で、予備の練炭類は背後のhエリアに置き、こちらは背面には業務使いの冷蔵庫がないため、保冷箱に材料を入れるなどの工夫をしている。

テントの後方全体は、いわゆる裏方であり、先述の通り、なるべく近くに配置する意図で、店正面の作業に合わせた商品や食器、備品を保管し、店先の動きに無駄が出ないように考慮している。当日の販売飲料の補充分（大半は缶ビール）を冷やすために冷蔵庫が2台用意されているが、これは閉店後そのまま施錠することも可能である。また、常温で一定期間商品を保管するために鍵付きの物置をテント内に設置するなど防犯面の配慮がある。

後方中央は、事務机、電話機、簡易金庫、電卓などが置かれた事務空間で関係機関の連絡先が掲示され、町会名簿も用意されている。事務空間はすべての販売コーナーが見渡せる位置にある。折り畳み椅子を複数用意していて、簡易な休憩や、当日の動きを分析し打ち合わせつつの待機も現場中央のできる構造である。



【写真16】向一客席1 椅子・テーブル式のテラスタイプ (1998.4)

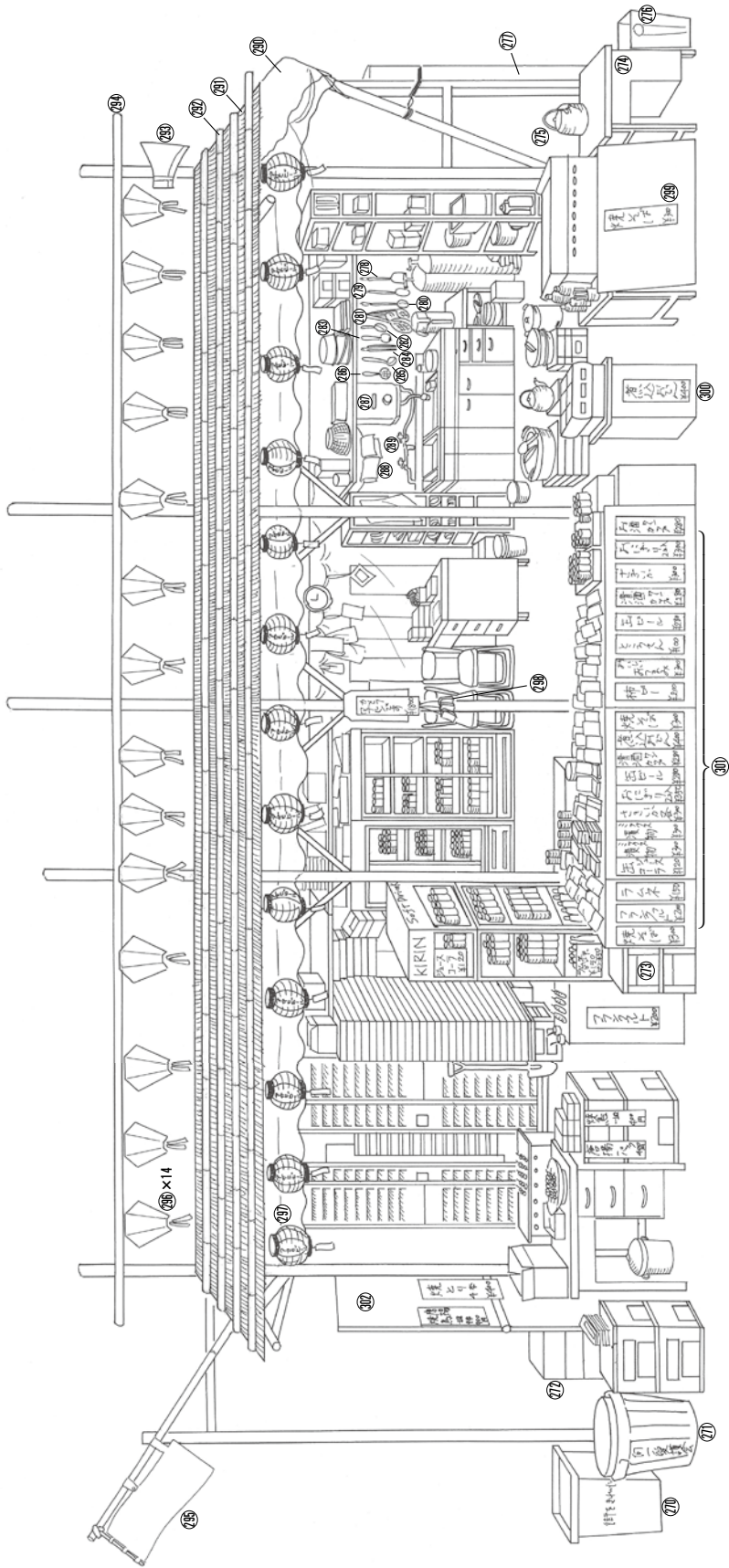


【写真17】向一客席2 座敷型宴会タイプ
空席に予約の貼紙 (1998.4.3)

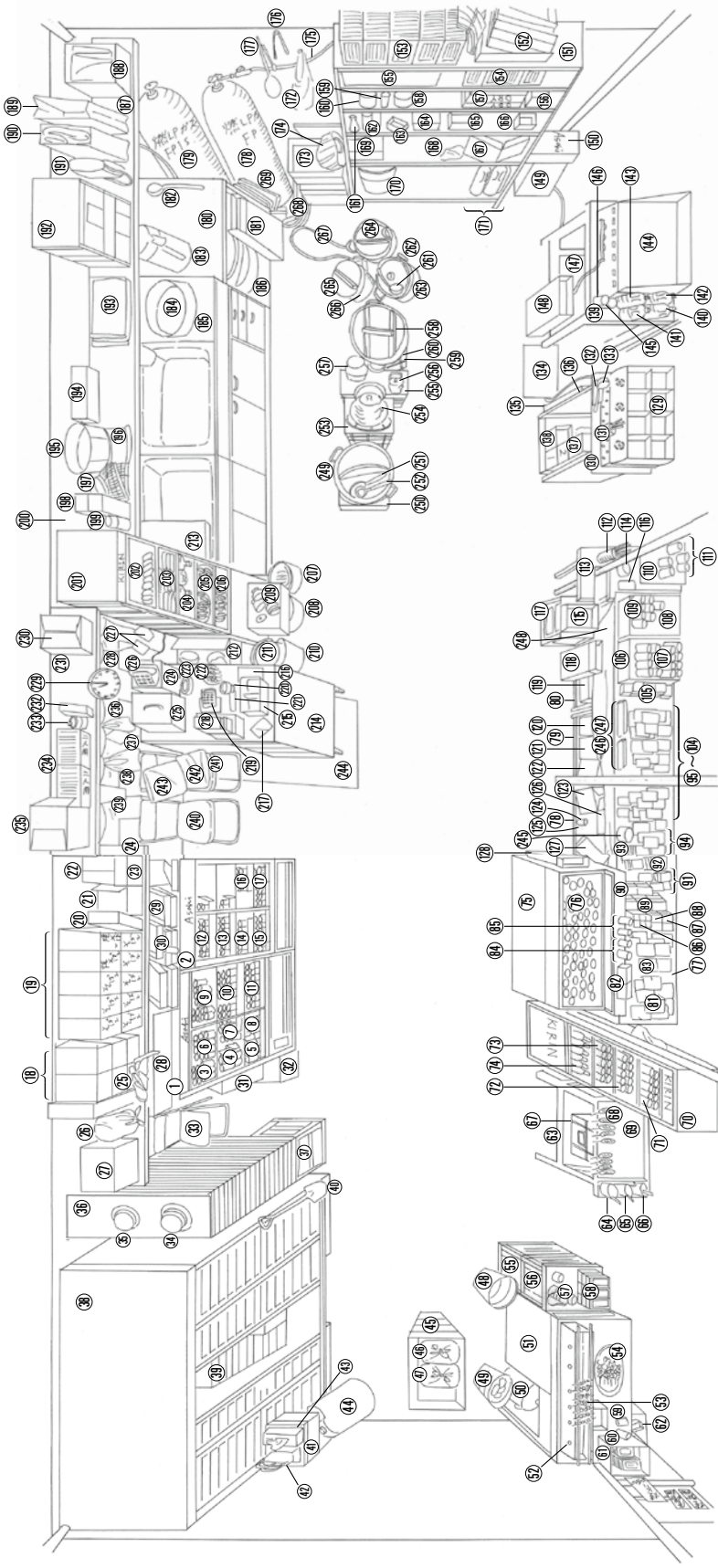


【写真18】ござとビール瓶ケースの保管空間
テント右側面に設置 (1998.4.4)

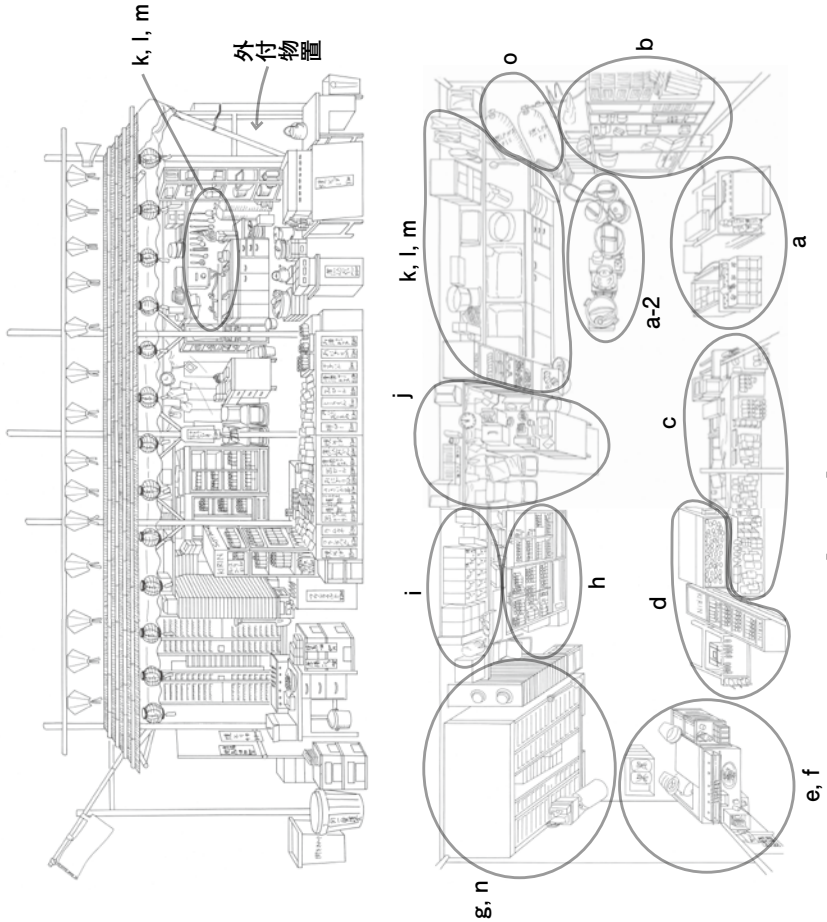
向島一丁目町会



【図14-1】 物品配置番号図 1



【図14-2】 物品配置番号図 2



【図14-3】 エリア図

エリア解説 a : おでん・焼きそば調理 (No.129 ～ 148, 299, 300)

a-2 : エリアaの予備待機 (No.249 ～ 267)

b : 予備品ストック・私物等まとめ (No.149 ～ 177)

c : 飲料つまみ販売 (No.77 ～ 128, 245 ～ 248, 298, 301)

d : 飲料・フランクフルト調理 (No.63 ～ 76, 273)

e, f : 焼鳥調理 (No.45 ～ 62, 270 ～ 272, 302)

g, n : ストック (商品・客席資材) (No.34 ～ 44)

h : 冷蔵ストック (No.1 ～ 17, 28 ～ 33)

i : 棚上部ストック (No.18 ～ 27)

j : 事務スペース (No.214 ～ 244)

k, l, m : 加工材料冷蔵・洗い場 (No.180 ～ 213, 278 ～ 289)

o : ガスボンベ常設 (No.178, 179, 268, 269, 287)

＊ _____ 線の名称はおもなもので用途。本文も参照

【表9】物品一覧表（【図14-1・2】物品配置番号図/【図14-3】エリア図対照表）

【平面図】ナンバリング：中央やや左から開始

エリア符号	番号	物品名称	備考	
h	1,2	店舗用片面陳列型冷蔵庫（壁面設置型）	「アサヒビール」ロゴ入り	
	3～5	缶飲料：アサヒスーパードライ生		
	6	缶飲料：メルシャンレモンチューハイ		画不良
	7,8	缶飲料：アサヒスーパードライ生缶	出荷梱包段ボール箱（350ml×24缶用）開封後の箱の蓋にまとめて一部のせてある	
	9,10	メルシャンレモンチューハイ缶	出荷梱包段ボール箱（350ml×24缶用）開封後の箱の蓋にまとめてのせてある	
	11	カルピスソーダ缶	出荷梱包段ボール箱（350ml×24缶用）開封後の箱の蓋にまとめてのせてある	
	12～17	アサヒスーパードライ生缶	出荷梱包段ボール箱（350ml×24缶用）開封後の箱の蓋にまとめてのせてある	
i	18	透明ビニール包装の白色トレイに入ったもの	「おでん2人用」の黒マジックの文字あり	画不良
	19	透明ビニール包装の白色トレイに入ったもの	「焼きそば」「おでん」等黒マジックの文字あり。商品が中に入っている？	画不良
	20	缶飲料梱包段ボール箱開封後の箱の蓋	缶飲料の名称は不明。店先のサーブ時の盆や冷蔵庫内配置の下敷きとして使用するストック	
	21	レジ袋（白色）新品入り段ボール箱		
	22	段ボール箱		
	23	手提げレジ袋（白色）新品入り段ボール箱	ボール紙にマジックインク手書き	
	24	仮設棚板	テントのボール（右）・鉄パイプ（左）を利用して設置	
	25	スタッフ荷物	町会員上着	
	26	割箸入り特大透明ビニール袋		
	27,28	段ボール箱	内容不明	27はエリアi
h	29	缶飲料梱包段ボール箱開封後の箱の蓋	お客への注文品サーブ時の盆として利用するため取り置いている。缶飲料「アサヒスーパードライ生8」「メルシャンレモンチューハイ1」の梱包箱の蓋	多数
	30	飲みかけレモンチューハイ缶	「大島」の黒マジック文字あり。大島さん保水用	
	31	空段ボール箱	「炭」の黒マジック文字あり。炭を入れている	
	32	練炭紙包み	⑬レンタン	画不良
g	33	折り畳み椅子		
	34,35	帽子	町内会員私物？墨田川花火大会協力作業の折配布されたもので町会ではその他の行事にも多用。	
	36	合板薄板（多数）	店横客席机天板予備。37の上に山積み	
	37	アサヒビール瓶用ケース（クリーム色）	プラスチック製。大瓶20本用 客席机の脚に使用。（奥にも1つある）	
n	38	鍵付簡易物置	商品ストック入れ。販売商品の保管専用＝施錠可	
	39	アサヒスーパードライ生缶箱	未開封。梱包箱のまま山積み（350ml×24缶箱）	
	40	スコップ		
	41	発泡スチロール製蓋付箱（白色）	焼鳥関連品用保冷箱として使用	
	42	手提げレジ袋（白色）	内容不明	画不良
	43	ティッシュBOX		
	44	ガスボンベ		画不良
	45	番重（クリーム色）	プラスチック製長方形。4点積み重ね	
f	46,47	焼鳥（生）包み		
	48	バケツ		
	49	バケツ	赤プラスチック製（焼鳥関係物品入り）	
	50	蓋・両手付容器（下部蛇口付）（白色）	ホーロー引き（焼鳥のたれを入れてある？）	
e	51	事務机		
	52	焼鳥用コンロ		
	53	鳥串刺し（焼成中）	焼鳥（串刺し）	
	54	焼きあがった焼鳥の載った大皿	販売中（陳列）	
	55,56	アサヒビール瓶用ケース（クリーム色）	プラスチック製。大瓶20本用	
	57	スタッフ荷物	水筒（横に蓋）	
	58	鶏唐揚げ	透明プラ食品用容器入り・輪ゴム止め	
	59	台布巾		画不良
	60	飲みかけ缶飲料（茶）	「一煎」＝茶。スタッフ保水用放置	
	61	焼鳥販売用白トレイ（白）	発泡スチロール製。「肉のハナマサ」段ボール入り	
d	62	焼鳥販売用白トレイ（白）	発泡スチロール製 段ボール箱入り	立面図と画の様子異なる
	63	鉄板焼用枠（台）（緑色）	鉄製 屋台に合わせた特注品と思われる	
	64	練りからし（透明タッパーウエア入り）	割箸2本を突き刺してある	
	65	ケチャップ（透明タッパーウエア入り）	割箸2本を突き刺してある	
	66	油缶（油引き用刷毛突っ込み状態）	「焼海苔」のラベル付銀色缶入り	
	67	七輪（角型）		
	68	フランクフルトソーセージ（焼成中）		
	69	鉄板焼用鉄板		
	70	陳列型冷蔵庫（四方見型）	下部「KIRIN」ロゴ入り	
	71	缶飲料類・ガラスカップ飲料類	茶「一煎」、桜政宗ワンカップ	
c	72	缶飲料類	キリンレモン、午後の紅茶	
	73	缶飲料類	茶「一煎」・「鳳凰」、キリリ、コカ・コーラ	
	74	瓶ラムネ		
	75	平置陳列型冷蔵庫（いわゆるドブヅケ型）	側面「アサヒビール」ロゴ入り	
	76	アサヒスーパードライ生缶	75に水をはり多量に浸けてある（販売中）	多数
	77～80	商品陳列台枠（緑色）	鉄製 上に板を渡し陳列台にする。63と同タイプ。特注品と思われる。このシリーズは地域柄技能のある地元民へ発注し、上部天板も規格を合わせて厚地ベニヤなどを切断していると思われるが、背景は未調査。	
	81	袋菓子：ハウス赤穂の天塩使用ポテトチップス袋	「¥160」黒マジックで商品直明記	
	82	櫻正宗ワンカップ3個入りパック		
	83	袋菓子：カルビーからあげびせん	「¥150」黒マジックで商品直明記	
	84	アサヒスーパードライ生缶		
	85	メルシャンレモンチューハイ缶		
	86	箱入菓子：ロッテコアラのマーチ（筒型箱）	「¥100」黒マジックで商品直明記	画不良（箱型描き切れず）
	87	箱入菓子：グリコチョコレートコロロン	「¥150」黒マジックで商品直明記	
	88	箱入菓子：グリコクリームコロロン	「¥150」黒マジックで商品直明記	
	89	箱入菓子：グリコバターブリッツ	「¥100」黒マジックで商品直明記	
	90	箱入菓子：グリコローストブリッツ	「¥100」黒マジックで商品直明記	
	91	箱入菓子：グリコニューボッキー	「¥150」黒マジックで商品直明記	
	92	袋菓子：亀田製菓味すぐり	あられ詰め合わせ 「¥200」黒マジックで商品直明記	
	93	袋菓子：でん六 豆六くん		

エリア符号	番号	物品名称	備考	
c	94	袋菓子：なとり のしかわはぎ	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	95	袋菓子：なとり さきいか漁火	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	96	袋菓子：なとり チーズ鱈	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	97	袋菓子：なとり つまみ鱈	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	98	袋菓子：なとり ツ□□ビー	「¥300」黒マジックで商品直明記	□□不明
	99	袋菓子：なとり 北海いかくん	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	100	袋菓子：柿ビー	「¥200」黒マジックで商品直明記	
	101	袋菓子：福寿バタービー	「¥200」黒マジックで商品直明記	
	102	袋菓子：なとり ビーフジャーキー	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	103	袋菓子：なとり チーズかまぼこ	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	104	袋菓子：なとり ソフトさきいか	「¥300」黒マジックで商品直明記	
	105	透明バック容器入り漬物：かぶ柴漬け、きゅうり塩漬け、白菜漬け	バック輪ゴム止め 「¥300」黒マジックバックに明記	
	106	メルシャンレモンチューハイ段ボール箱	350ml×24缶 出荷用の箱を開封し箱のまま店先に出している	
	107	メルシャンレモンチューハイ缶		
	108	櫻正宗サクラカップ段ボール箱	180m×30カップ 出荷用の箱を開封し箱のまま店先に出している	
	109	櫻正宗ワンカップ		
	110	アサヒスーパードライ生缶段ボール箱	350ml×24缶 出荷用の箱を開封し箱のまま店先に出している	
	111	アサヒスーパードライ生缶		
	112	割箸を挿した空缶		
	113	本製機		
	114	小箱	紙製	
	115	缶飲料空箱蓋	接客時の盆として使用するために置いてある	
	116	輪ゴム	白色発泡スチロール製トレイ(商品用)に入れてある	
	117	アサヒビール瓶用カートン(クリーム色)		
	118	櫻正宗サクラカップ段ボール空箱	180m×30カップ 出荷用の箱	
	119	保冷箱(白色)	蓋付発泡スチロール製	
	120	空段ボール箱	黒マジックで「9.4/23 赤白あづき色布」と明記	
	121,122	空段ボール箱	「ハウス赤穂の天塩使用ポテトチップス」の印刷文字あり。出荷用の箱	
	123	空段ボール箱	「チ□□□□プス 1 ボン」印刷文字あり。(文字一部識別できず)	
	124	麒麟烏龍茶鳳凰 空缶		77～80の台に陳列中の商品の空き箱(机下)。閉店時再び箱に戻し38の倉庫に施錠収納。
	125	空段ボール箱	「亀田製菓味すぐり」の印字あり。出荷用の箱	
	126	空段ボール箱	「バタービーナッツ 200円×10袋」の出荷用の箱	
	127	空段ボール箱	「トヨタホイールディスク」の印刷文字のある空箱	
	128	空段ボール箱利用ゴミ箱	「KD422 一煎緑茶缶」の出荷用の箱	
a	129	ガスコンロ付おでん煮込鍋		
	130	おでんコンロ用鉄製机(緑色)	特注品80と揃い	
	131	割箸立	茶色ガラスの空瓶(クリープの瓶?)に割箸を挿してある	
	132	お玉受け(白色)	137,138と同じ発泡スチロール製の食品用トレイの転用	
	133	玉杓子		
	134	カーペット端布(緑色)	ガスホース保護用	
	135	ガスホース(オレンジ色)		
	136	アサヒスーパードライ出荷用段ボール開封後の蓋のみ	129, 130のおでん煮込み機で使用している煮込み鍋のガスホースをボンベに渡す際の安全対策・防壁として使用	
	137,138	発泡スチロール製トレイ(白色)	おでん2人用 ビニール袋入り	
	139	焼きそば鉄板用机(緑色)	緑色 特注品 130と揃い。脚に黒マジックで「ヤクソバ」の文字(揃い物が皆似ているが現場に合わせ個々に寸法が違う様子。組み合わせが重要らしい)	
	140,141	ソースペットボトル瓶	ヒゲタソースか?	
	142	水入りペットボトル大瓶	KOKUBU烏龍茶ペットボトル使用(焼きそば調理用の水)	
	143	サラダオイルペットボトル瓶	乳白色ボトル	
	144	ガスコンロ付焼きそば用鉄板		
	145,146	調味料缶(上部に振出し用の穴)	青のり用?	
	147	ガスホース(オレンジ色)		
	148	缶飲料空段ボール転用ゴミ箱		
b	149	缶飲料段ボール箱		
	150	アサヒスーパードライ生缶梱包空段ボール箱蓋	178,179ガスボンベにガスホースをつなげている防壁用	
	151	スチール棚(緑色)	特注の様子	
	152	アサヒスーパードライ生缶梱包空段ボール箱蓋	鉢利用のためのストック	
	153,154	発泡スチロール製トレイ(白色)	焼鳥用ストック	
	155	無地段ボール箱	内容不明	
	156	ティッシュペーパー BOK	エリエール製	
	157	アサヒスーパードライ生缶梱包空段ボール箱蓋	盆に転用するためのストック	
	158	蓋付円柱型透明容器	プラスチック製	
	159	胡椒缶		
	160	蓋付円柱型透明容器		
	161	卓上醤油瓶		
	162	卓上ソース瓶		画不良
	163	弁当箱(白色)	容器使用=弁当ではない	
	164	紅ショウガ	クリーム色ポリプロピレン容器入り	
	165	空容器	164の紅ショウガが空になったもの	画不良
	166	蓋付銀色空缶		
	167	保冷箱(白色)	発泡スチロール製	
	168	台布巾		
	169	プラスチック製籠(青色・緑色)		画不良
	170	ポリ桶(台布巾替え入り)	「酢崎 大豊(株)」のロゴ入り	
	171	サラダ油、ソースペットボトル		
	172	レジ袋(旧)	使い古し	
	173	アサヒスーパードライ生缶梱包空段ボール箱蓋	盆に転用するためのストック	
	174	スタッフ荷物	手提げ袋	
	175	ガスホース(オレンジ色)	147のホースから続いている	
	176	火ばさみ		
	177	不明	十能か?	
o	178,179	プロパンガスボンベ		

エリア符号	番号	物品名称	備考	
k,l,m	180	机(緑色)	机の脚枠 緑ペンキ塗装特注品。天板は木製板。130、139等と同様な製品	
	181	段ボール空箱	缶飲料の箱(ゴミ箱利用か?)	
	182	玉杓子		
	183	ポット		
	184	ポリ製洗い桶(青色)		
	185	ステンレス流し台セット		
	186	不明		
	187	仮設棚板	188～199を載せてある。テント支柱を利用?	
	188	段ボール箱(白色)	内容不明	
	189,190	紙袋	内容不明	
	191	スタッフ荷物	格子縞手提げ袋	
	192	保冷箱	蓋付発泡スチロール製 2個	
	193	アルミ盆	4、5枚	
	194	銀色角缶		
	195	ポリ洗い桶(青色)		
	196	アルミ盆		
	197	プラスチック製水切り籠(青色)		
	198	不明缶		
	199	茶筒		
	200	ベニヤ壁		
	201	縦置陳列型冷蔵庫(四方見型)	KIRINロゴ入り	
	202,203	焼きそば用麺(個別包装入り)	江戸雪製	
	204	ペットボトル飲料	スタッフ用	
	205,206	フランクフルトソーセージ(ビニール袋入り。材料)		
	207	ポリ桶(クリーム色)		
	208	ポリバケツ(青色)		
	209	箱	スタッフ用茶碗か?	
	210	ポリ桶	クリーム色	
	211	ポリバケツ	青色	
	212	キャベツ玉	段ボール箱入り	
	213	まな板		
	214	事務机		
j	215	小銭入れ用籠		画不良
	216,217	メモ用紙		
	218	箱	内容不明 2点	
	219	電卓・メモ用紙		
	220	湯呑み茶碗	お茶入り スタッフ用?	
	221	台布巾		
	222	豆菓子入りの皿?	スタッフ用間食用?	
	223	ガムテープ		
	224	段ボール箱	電話台として利用	
	225	卓上金庫?	事務用箱? 木製	
	226	電話機		
	227	電話番号一覧メモ		
	228	紅白幕	棚板下の目隠し?	
	229	柱時計		
	230	段ボール箱	内容不明	
	231	仮設棚板	2 4 同様の設置方法?	
	232,233	不明		
	234	食品用トレイ(白色 2人用)(ビニール袋入り)	発泡スチロール製	
	235	段ボール箱	内容不明	
	236	レジ袋(白色)	内容不明 吊してある	
	237	町会名簿		
	238	鍵入りレジ袋	吊してある。予約控え等に使用	
	239	ノート		画不良
	240,241	折り畳み椅子		
	242,243	座布団		
c	244	カーペット端布(緑色)	設備養生用	
	245	小銭入れ容器(クリーム色)	プラスチック容器	
	246,247	算盤		
a-2	248	テーブルクロス(小豆色布)		
	249	木蓋付鉄鍋		
	250	コンクリート片	鍋敷として使用	
	251	網杓子	麺水切り用	
	252	柄杓		
	253	角型七輪		
	254	やかん		
	255	コンクリートブロック	4点	
	256	アルミ急須		
	257	ポット	湯を入れる	画不良
	258	木蓋付鉄鍋(白金色)		
	259	柄杓		
	260	角型七輪		
	261	玉杓子		
	262	蓋付アルミ鍋		
	263	ガス竈	下部に五徳なし? 鍋釜仮置き用?	
	264	木蓋付鉄鍋(黒)		
	265	木蓋(一文字)付鉄釜		
	266	ガス竈		
	267,268	ガスホース(オレンジ色)		268はエリアo
	269	段ボール箱(プロパンガスのクッション)	折り畳み間に収納してガスボンベがぐらつかぬように緩衝材としている	
o				

※イラスト図では、テント内天井(屋根幌)構造のボール(妻側の高い場所)に掲示している料金早見票が欠如。店内で誰でもすぐ見える場所を考慮している。

【立面図】

エリア符号	番号	物品名称	備考	
e.f	270	ゴミ箱		
	271	青ボリゴミバケツ		
	272	段ボール空箱	焼鳥の材料の梱包箱だったもの 5箱	
d	273	プラスチックケース(黄色)	ラムネ瓶用	
右園外仮設併 設物置そば	274	事務机		
	275	やかん		
	276	ゴミ箱		
	277	向島一丁目町会看板		隅田公園愛護会の名入り
k.l.m	278	網杓子		画やや不良
	279	柄杓		
	280	玉杓子		
	281	網杓子・すいのう(大・小)	すいのう多数	
	282	玉杓子		
	283	玉杓子		
	284	菜箸		
	285	玉杓子		
	286	網杓子		
	287	ガス瞬間湯沸かし器		
	288	布巾	2枚	
屋根 及び 外 周 圍	289	蛇口(消毒薬付き)		画不良
	290	透明ビニールシート		
	291	よしず [※]	庇に風情を出すため使用=装飾	
	292	竹	よしず押さえ用(4本・列)	
	293	スピーカー		
	294	鉄パイプ骨組み		
	295	アサヒスーパードライ生缶織		
	296	はんぱり	さくらまつり定型 14張	
	297	提灯	「アサヒビール」名入り 13張	
c	298	写ルンですカメラと商品キャプション	販売用・キャプションはテント鉄パイプにとりつけ	
a	299	焼きそば卓前垂れ	「焼きそば¥300」の貼り紙付き	
	300	煮込みおでん卓前面掲示(貼り紙)	「煮込みおでん¥400」	
c	301	商品価格掲示(貼り紙)	20枚(卓上の商品を中心に作成掲示。299の前垂れ同様板をつなぎ合わせた?) 上に掲示	
e.f	302	焼鳥卓風除け	「焼き鳥4本¥400」「唐揚 焼鳥9本」貼り紙掲示	平面図・立面図で掲示 異なる

※テント付設備は別途

※「物品名称」は復原時調査者自身が想起しやすいよう付与している。当館の資料名表記基準とは異なる

このイラストに含まれない外部構造として、客席があり、これは屋台周辺に設置される。折り畳み椅子と机を並べる場合【写真16】と、ござを敷いて、ビール瓶の運搬用ケースを脚にして合板を置いた簡易机を並べる場合【写真17】があり、後者は客の出によって席数を増減している。使用する合板はテント内の保管空間（g, n エリア）に、ござとビールのケースはテント外向かって右側面に保管空間を別途設けている【写真18】。客席は雨天には設置しない。

向嶋墨堤組合茶席（通称芸妓茶屋）（【図15-1, 2, 3】 【表10】 参照）

この茶席は、桜橋を墨田区側へ渡った場所に造られ（【図1】 参照）、料亭、芸者置屋などが加盟する向嶋墨堤組合（見番）が出店している。現役の芸妓が着物に髷姿で注文品を運ぶのが呼び物になっており【写真19】、これを目当てに例年アマチュアカメラマンが殺到する。



【写真19】注文品を運ぶ芸妓連（1998.4.5）

エリア a（No.19～24, 219） 事務スペース

正面向かって右端内部は事務空間で、家具調の机が置かれ、電話機がある。右側の壁には芸妓関係者電話一覧が貼られている。店正面側手前に低い壁を立て紅白の幕をかけ、正面からの見た目に配慮している。また、立面図右端にあるよしずは閉店時に店舗正面をふさぐ際に使われる。

エリア b, c（No.25～41, 191～199内の机・椅子含） 帳場エリア

事務スペースエリアが途切れる個所（＝店正面から中への出入り口）を境にして店舗の対面営業ゾーンになる。店舗ファサードは机を並べ手前に前垂れの壁（板？）を立てかけている。机は白布のテーブルクロスで覆っている。右側にチケット売場を設置し、その横に見本の団子が置かれている。メニューは4種類（【表7】 No. 1～3, 5, 【写真20】）で、それぞれ色分けされたプラスチック製の札をチケットとしており、チケット売場には客に渡す札を色別に分けた箱、釣り銭トレー、帳場箱、使用済みの札を入れる箱などが置かれている。



【写真20】茶菓類（左から：菓子付アイスコーヒー、甘酒と緑茶、きびだんごと緑茶、串団子と緑茶）（1998.4）

エリア d（No.42～49, 191～199内の机・椅子含） 配膳空間（お茶団子セット用）

帳場の左は机の上を広くあけた配膳空間で、机の隅に食器（皿）や注文品を運ぶために使う漆塗りの

丸盆（このイラスト上はなし）や灰皿を用意している。左隅にはタオルを敷いた上に湯飲み茶碗を伏せている。

エリア e (No.50 ~ 64, 86 ~ 96, 191 ~ 199内の机・椅子含) 甘酒茶湯エリア

七輪を組み込んだ特注の木製ワゴンが2台あり【写真21, 22】、茶釜、羽釜がそれぞれかかっている。茶釜では緑茶用の湯を沸かしており、脇に柄杓、大型の急須を置いている。羽釜には甘酒が入っており、脇には柄杓、甘酒用の腰高の湯呑み茶碗を入れた容器がある。



【写真21】特製木製ワゴン 銅壺に七輪を据える
(1998.3.26)



【写真22】特製木製ワゴン 火元をレンガで囲み慎重に釜を据える (1998.3.26)

エリア f (No.65 ~ 73, 79 ~ 85, 191 ~ 199内の机・椅子含) 小売りエリア

エリア e 店正面から見て左隣にあたる場所には、アイスコーヒーに添えるストロー、ミルクのパック、袋菓子が置かれ、さらに左には土産物として販売している蓋付容器入り団子2種（甘辛、こしあん）を見栄えを考えて竹ざるにのせて陳列している。

エリア g (No.74 ~ 78, 222) きびだんご屋台

正面左端にはリヤカーを改造したきびだんごの屋台がある。きびだんご屋台は手前（店先側）に団子をゆでるための寸胴鍋を設置し、中央にきな粉が入った引き出し、後ろ側（引き手側）にガスボンベを積んでいる。この屋台横には予備のガスボンベが置かれている。

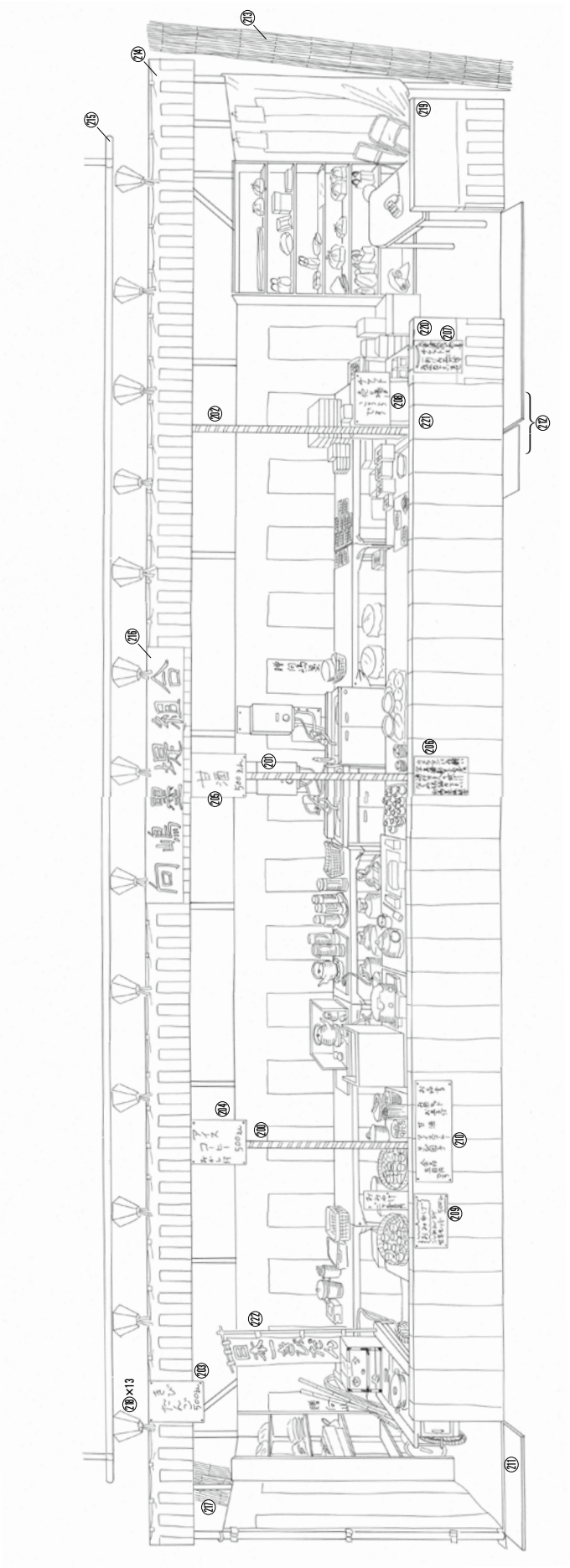
エリア h, i (No.97 ~ 110) 半纏・清掃用具等エリア

店舗内左後方隅にはベニア板製の棚がある。ここには、販売員用の半纏、ごみ用ビニール袋のストック、スタッフの上着等がある。その右に箒、ちり取りなどの掃除用具を置いている。ここは比較的雑多な物を置けるようである。

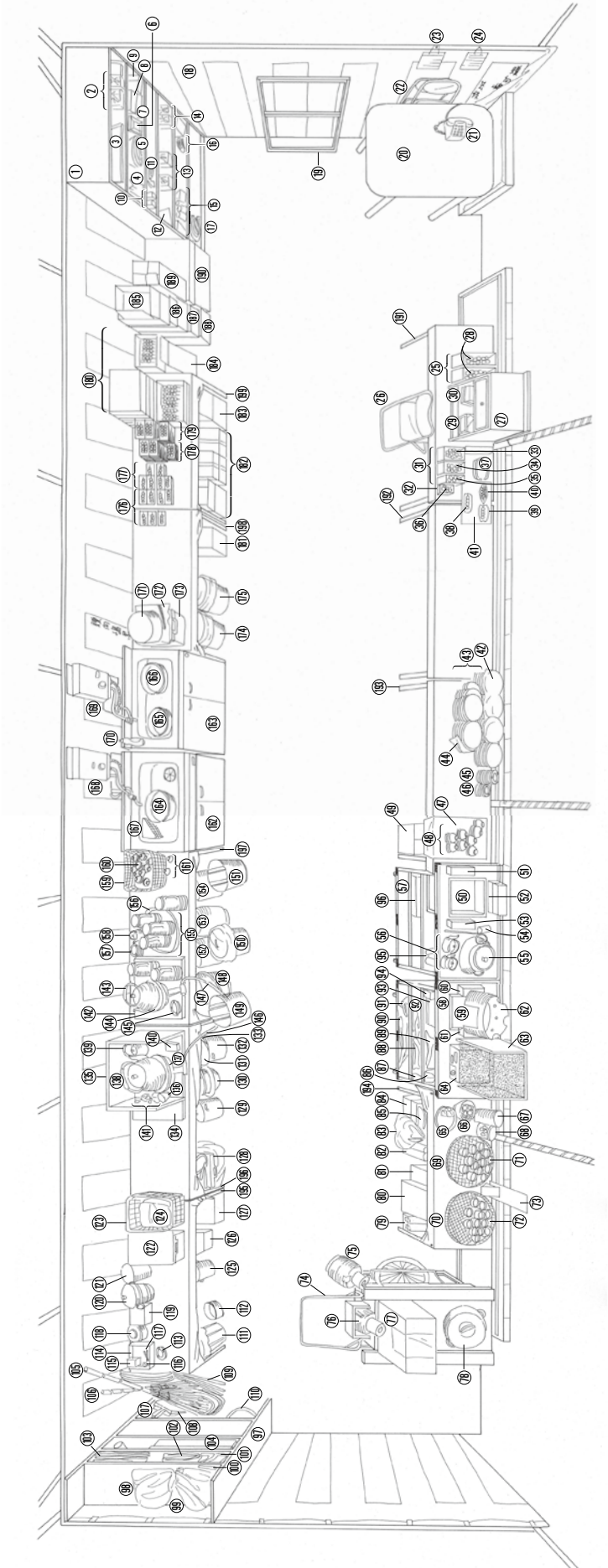
エリア j (No.111 ~ 158, 191 ~ 199内の机・椅子含) アイスコーヒー・湯沸かしエリア

h, i エリアの棚の右側に位置する。白布をかけた机が3台あり作業台として使われている。一番左の机はアイスコーヒーを作る場所で、アイス用のポット、グラスを入れた水切り籠、ストロー、ミルクのストックなどが置かれている。中央と右の机にはガスコンロが置かれ大型のやかんがかかっている。机下にはガスボンベがあり、2つのコンロにガスを供給している。中央の机のやかんは三方を火除けで囲んでいて、囲いの中にはやかんの他に、塩と砂糖の袋、土瓶、マッチ棒、燃えさし入れがある。右の机のコンロ横には沸かし湯を入れるポット6個、マッチ棒の燃えさしを入れる灰皿が置かれている。

向嶋墨堤組合茶席（芸妓茶屋）



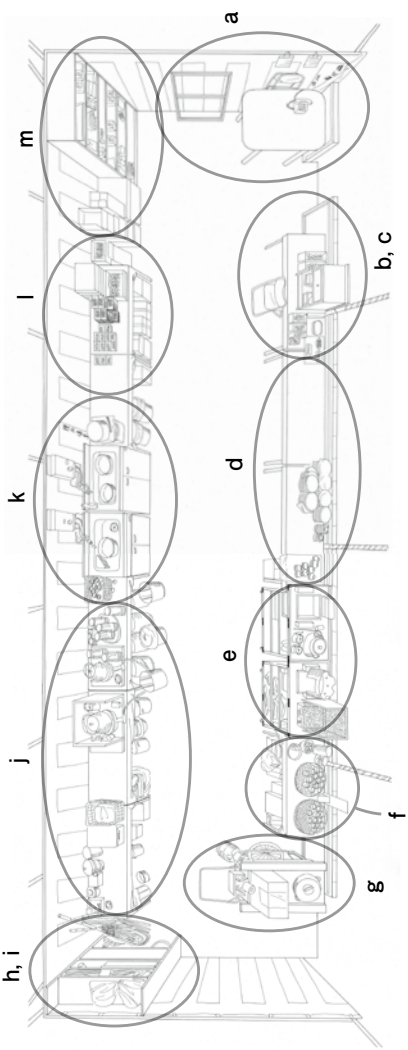
【図15-1】 物品配置番号図 1



【図15-2】 物品配置番号図 2

エリア解説	a	：事務スペース(No.19～24, 219)
	b, c	： <u>幄場</u> (No.25～41, 191～199内の机・椅子含)
	d	： <u>配膳空間</u> (お茶団子セット用) (No.42～49, 191～199内の机・椅子含)
	e	： <u>甘酒茶湯提供</u> (No.50～64, 86～96, 191～199内の机・椅子含)
	f	： <u>小売り販売</u> (No.65～73, 79～85, 191～199内の机・椅子含)
	g	： <u>きびだんご屋台</u> (No.74～78, 222)
	h, i	： <u>半纏・清掃用具等置き場</u> (No.97～110)
	j	： <u>アイスコーヒー・湯沸かし</u> (No.111～158, 191～199内の机・椅子含)
	k	： <u>洗い場</u> (No.159～175, 191～199内の机・椅子含)
	l	： <u>串団子準備空間</u> (No.176～184, 191～199内の机・椅子含)
	m	： <u>私物等置き場</u> (No.1～18, 185～190)

* 線の名称はおもなものと用途。本文も参照



【図15-3】 エリア図

【表10】物品一覧表（【図15-1・2】物品配置番号図/【図15-3】エリア図対照表）

【平面図】ナンバリング：図右上から開始

エリア符号	番号	物品名称	備考	
m	1	棚	ベニヤ板製	
	2	スタッフ荷物	和装用巾着	
	3	厚紙板	掲示貼り紙用？ 見本商品下敷か？	
	4	スタッフ荷物	黒手提げ鞆	
	5	スタッフ荷物	毛糸ストール	
	6	写真立て(枠：オレンジ色)		
	7	段ボール箱	事務用品？	
	8,9	平たい缶	事務用品？	
	10	アルミホイル	2本	
	11	スタッフ荷物	手提げ袋 女性用ポーチ	
	12	ビニールシート	透明地に青縞	
	13,14	スタッフ荷物	和装用巾着	
	15	スタッフ荷物	手提げ鞆2、物入りの白色レジ袋2	画不良
	16	スタッフ荷物	手提げ鞆、洋風巾着	
	17	スタッフ荷物	ジャンパー（黄色）	
	18	紅白幕	店舗側面に張り巡らせている。端に「贈 向嶋芸妓組合」の文字	
	19	木枠	看板用？	
a	20	ダイニングテーブル(白色塗装)	事務机として使用	
	21	電話機(白色)		
	22	折り畳み椅子	2脚 事務机用	
	23,24	芸妓茶屋関係者電話一覧掲示	ボール紙にマジックインク手書き	
	25	注文札入れ	段ボール箱切り貼りで作成した小箱	
b,c	26	折り畳み椅子	帳場用	
	27	木製棚(引き出し付)	帳場用。裏面に207「チケット売り場はこちら」表示あり	
	28	カラー注文札	楕円プラスチック製	画不良=実物は楕円
	29	輪ゴム入れ	段ボール箱切り貼り自家製小箱	
	30	小箱	(用途不明)	
	31	小箱	段ボール箱切り貼り自家製	
	32	蓋付紙箱		
	33	水色注文札	楕円プラスチック製	画不良=実物は楕円
	34	緑色注文札	楕円プラスチック製、赤紐付き	
	35	黄色注文札	楕円プラスチック製、赤紐付き	
	36	赤色注文札	楕円プラスチック製	
	37	会計用トレイ(赤色)	プラスチック製	
	38	串団子(餡)実物見本		
	39	串団子(甘辛)実物見本	それぞれ皿にのっている	
	40	きびだんご実物見本		
	41	厚板紙	商品の見栄えをよくするために下に敷く	
	42	タオル(布巾用)	皿の塵除け	
d	43	陶製大皿(灰色)		
	44	タオル(布巾用)	皿をまとめてくるんでいる	
	45	金属製灰皿(青色)		
	46	金属製灰皿(銀色)		
	47	タオル	48をこの上に伏せている	
	48	湯呑み茶碗(黒色 甘酒用)		
	49	段ボール箱		
	50	炉銅壺(茶釜用)	中に丸型七輪を設置・ワゴン埋め込み式	
e	51,52,53	レンガ	50の炉内設置の七輪目隠し・断熱用	
	54	柄杓		
	55	茶釜(真形)		
	56	朱泥急須		
	57,58	木製特注ワゴン	呈茶、甘酒提供。74同様、使用する際に雰囲気があるように外観に注意をして作られている	
	59	炉銅壺(やかん用)	50と同様な原理	
	60,61	レンガ	炉銅壺七輪目隠し・断熱用	
	62	かまど	鉄製。卓上で風除けに使用、もしくは羽釜をかけることがある	
	63	自家製風除け	ベニヤ板製	
	64	ポータブルガスコンロ	(上部未見 やかんか？)	
f	65	盆(袋菓子用)	柿ピーをのせる	
	66	金ざる(袋菓子用)	せんべい入り	
	67	黒筒容器	ストロー収納	
	68	透明プラスチック製容器	コーヒーマルク入れ	
	69,70	盆ざる	下にペットボトルを置き傾斜をつけディスプレイ工夫	
	71	こしひかり団子(甘辛)	蓋付丸型透明パック入り 土産用	
	72	こしひかり団子(こしあん)	蓋付丸型透明パック入り 土産用	
	73	土産物紙袋2個、500円卓上立て看板(白色)	ボール紙製「おみやげ 二枚五百円」	
g	74	きびだんご屋台	リヤカー改造型	
	75	ガスボンベ	印字「東京都墨田区島燃料（電話番号あり）」	
	76	ガスボンベ(小)	75よりも小	
	77	材料の箱(木製)	鍋側に引き出し2段 きな粉入り	
	78	寸胴鍋	湯沸かし、団子をゆでる際使用	
f	79	段ボール箱(白色)	こしあん入り	
	80	段ボール箱	「有限会社大東製菓」表示あり	
	81	空段ボール箱		
	82	菓子入り紙製手提げ袋(白色)	せんべい入りか？	
	83	袋菓子入りレジ袋(白色)		
	84	保冷箱(水色)	蓋付発泡スチロール製	
	85	水切り籠(薄緑色)	プラスチック製	
e	86	スタッフ荷物	布製ポーチ(黒)	
	87	ポータブルガスコンロ用ガスブレイ缶		
	88,89	食器をのせた黒塗盆	上に塵除けタオルがけ	
	90	タオル		
	91	ビニール袋	ゴミ用	
	92	食器をのせた黒塗盆	上に塵除けタオルがけ	
	93,94	木箱		
	95	紙包み(ピンク色)		
	96	(不明)		
	97	棚	ベニヤ板製	
h	98,99	スタッフ荷物	ジャケット2枚(白)(臙脂色)	
	100	小箱	用途不明	
	101	ゴミ袋	ビニール袋	
	102	スタッフ荷物	ジャケット(紺)	

エリア符号	番号	物品名称	備考	
i	103	向嶋墨堤組合半纏	予備用ストック	
	104	古新聞(段ボール箱入り)		
	105,106	竹箒		
	107	塵取り(水色)	プラスチック製	
	108	塵取り	ブリキ	
	109	折り畳み椅子	3脚	
j	110	ホース(青色)		
	111	ゴミポリバケツ(青色)		
	112	(容器 用途不明)		
	113	灰皿(銀色)	金属製	
	114	箱(紙製)		
	115	角型小物入れ(青色)	プラスチック製	
	116	爪楊枝(透明円柱型ケース入り)	販売用物品につける	
	117	ホチキスカ?		
	118	コーヒー用個別包装ミルク	本体透明・蓋緑色プラスチック容器入り。68のストック	
	119	ストローの紙箱	「Love Straws」の印字 ストローのストック	
	120	(不明)	水入れか?	
	121	筒型容器(黒)	個別紙包装ストローストック入り 67のストックが入っている	
	122	水切り籠(緑色)		
	123	水切り籠(白色)	ウケ付。プラスチック製。タオル上掛け中。	
	124	タオル	NO.123の中にある	
	125	側面持ち手付容器	用途不明	
	126	段ボール箱	用途不明	
	127	蓋付箱(白色)	発泡スチロール製 保冷箱として使用	
	128	特大ゴミ袋(塵除けとして各種容器を中に収納中)	プラスチック製たらい(青)1、プラスチック製水切り籠(白)1、金柄杓(柄は木)2本入り	
	129	蓋・持ち手付容器(青色)	ホーロー引き	
	130	羽釜(木蓋付)(青色)		
	131	ポリゴミバケツ蓋(青色)		
	132	129と同型容器	但し蓋紛失。131を本来の蓋の代わりに被せている。	
	133	金柄杓(柄木製)	132に突っ込んである	
	134	合板(白色)		画不良
	135	風除け	ベニヤ板製	
	136	マッチ燃えさし入れ	ラッパ型青縞湯呑み茶碗利用	
	137	ガスコンロ	五徳型	画不良
	138	やかん		
	139	やかん(小)		
	140	マッチ箱		
	141	砂糖と塩の袋	使いかけ	
	142	合板(白色)		
	143	やかん		
	144	ガスコンロ	五徳型	画不良
	145	灰皿(銀色)	金属製 マッチ燃えさし入れとして使用	
	146,147	ガスホース(オレンジ色)		
	148	ガスボンベ		
	149	蓋付ポリ製漬物桶(クリーム色)		
	150	ホーロー引き容器(青色)	蓋がない為上部ゴミ袋かけ	画不良(蓋は無し)
	151	蓋付ポリ製漬物桶(クリーム色)		
	152~154	ガスボンベ		
	155	ステンレス製ポット	6台	
	156	丸盆	黒塗り	
	157	灰皿(銀色)	金属製	
	158	急須		
k	159	水切り籠(ピンク色)	プラスチック製	
	160	湯呑み茶碗	丸型青色、丸型白地花模様	ラッパ口ではない形
	161	湯呑み茶碗	丸型白地花模様	ラッパ口ではない形
	162,163	ステンレス製流し台		
	164~166	ステンレス製洗い桶		
	167	水切り三角コーナー (青色)	プラスチック製 中に黄色スポンジあり	
	168,169	ガス瞬間湯沸かし器		
	170	食器用洗剤(緑色)		
	171	洗い桶(赤色)	プラスチック製	
	172	埃避けの紙		
	173	水切り籠(白色)	プラスチック製 ウケ付	
	174,175	ホーロー引き容器(青色)	ゴミ袋にて口覆いかけ	
l	176	塗りの木皿にのった串団子(甘辛)	店先での飲食用準備が済み提供待ち	
	177	塗りの木皿に載った串団子(餡)		
	178	蓋付透明パック入り串団子(甘辛)	持ち帰り用	
	179	蓋付透明パック入り串団子(餡)		
	180	蓋付アルミ容器入り(角型番重)串団子(甘辛・餡)	製造元から届いた形	
	181,182	段ボール箱	内容不明	
m	183	段ボール箱(白地)	日通宅急便の箱利用「桜まつりロープ」と赤マジックで外面に記載。ロープ収納箱	
	184	段ボール箱	畳んである	
	185~187	空段ボール箱	物品を入れて運んできたもの。それらを使用しないときはこの箱に入れて保管している模様	
	188	空段ボール箱	赤マジックで「ホーロー、ヤカン」の文字あり。琺瑯の器ややかん保管の箱と思われる	
	189	段ボール箱		
	190	茶箱		
	b,c,d,e,f,j,k,l	191~199	事務用折り畳み机	上面白布張り

【立面図】

エリア	番号	物品名称	備考	
店正面側	200~202	紅白さらし巻き鉄パイプ		
	203~205	価格表示・案内表示(白地厚紙)	紙ではなく板か?	
	206~208	案内表示・注意事項表示(白地厚紙)	レジの位置や整列、カメラ注意	
	209	商品案内表示(土産団子)(白地厚紙)	銀止め「おみやげ こしあん ニケ 甘辛セット 500円」	
	210	商品案内表示(店舗販売品)(白地厚紙)	銀止め「お品書 お茶セットお菓子付 甘酒 アイスコーヒー きび団子 全品五百円です。」	
店正面店先掲示随所	211,212	ベニヤ板スロープ		
店正面両端	213	よしず	閉店間い用	
店外右	214	紅白幕(小)		
	215	鉄パイプ	店舗骨組み用(高架下躯体と併用) ぼんぼりを吊るす	
	216	店舗看板	木板製	
店正面左後部	217	よしず	閉店間い用	
店正面上部	218	ぼんぼり	13個 桜まつり統一配布分	
	219,220	目隠し用化粧板(前垂れ)	小紅白幕貼りつけ装飾	
店正面	221	目隠し用化粧板(前垂れ)	219,220よりも柄が大きい。	
平面g該当	222	日本一きびだんご職	竿付	

※「物品名称」は、復原時調査者自身が想起しやすいよう付与している。当館の資料名表記基準とは異なる

エリアk（No.159～175, 191～199内の椅子含） 洗い場

ステンレス製流しが2台並んでおり、いずれも瞬間湯沸かし器が設置されている。左のシンク脇には洗った湯呑み茶碗を水切り籠にあげてある。右の流し台の右側には白布をかけた机が置かれ、水切り籠がのっている。

エリアl（No.176～184, 191～199内の机・椅子含）串団子準備エリア

後部で串団子を皿にセットする机。漆塗りの皿に串団子が並ぶ。机の右端にはアルミ容器（角番重）、透明パックに入った串団子のストックが置かれている。

エリアm（No.1～18, 185～190）私物等の置き場

店舗内左後方と同様のベニヤ板製の棚が右側にもある。芸妓連の手荷物、アルミホイルのストック、ビニールシートなどを置いている。事務スペースに近く使いやすい。

この模擬店（茶席）の特徴は向嶋墨堤組合（見番）の持つ花柳界の雰囲気を生かした春の屋外茶席のコンセプトを強く打ち出している点にある。メニューは他店に比べ種類を絞り込み茶菓中心であり、札を先に受け取るチケット制で商品は座席まで芸妓が運んでくれる。江戸の錦絵の茶店娘の図を彷彿とさせる。食器も使い捨てではないものを利用し、注文品を運ぶ盆も、他店のように段ボール箱を転用した即席の盆ではなく、きちんとした盆にのせて運んでいる。客



【写真23】芸妓茶屋客席（1998.4.5）

席は茶席（模擬店）の前に設置されるのだが、これも、縁台に緋毛氈をかけたものや金属製の小型ベンチに緋色の座布団をつけた洒落たものである。低めの縁台を並べテーブルとしている【写真23】。店舗構造は側幕としての紅白幕の活用、鉄パイプも紅白テープを巻いて装飾するなど余念がない。芸妓の華やかな雰囲気や風情と調和を図るよう努めている。

店内部は向一町会同様作業効率を考えた配置である。店舗ファサードは、右端の事務空間直近の場所に現金を扱う帳場、その並びに配膳机、湯茶のための特製ワゴンやきびだんご屋台、商品陳列机が続く。ワゴンに組み込まれた銅壺炉や茶釜類は一般のガスコンロとは違い芸妓の雰囲気との調和を意図したもので、実用性もさることながら、店頭の効果的なディスプレイとなっている。

後方エリアは、水場を中央に備え、左にやかんを用いた湯沸かしコーナー、右に配膳スペースとしての机がある。水場が中央にあることにより、水を汲んで沸かすのも、回収した多量の湯呑み茶碗を洗い右の机の空きスペースに伏せ置くにも便利である。また、この机は配膳スペースとしても利用しているが、店舗ファサードにも配膳のための机があるため、団子の配膳などは前後に人を分けて一度に多量にこなせる。イラストでは机の上はすっきりしているが、満開時の花見客の対応はこの前後両方の配膳スペースをフル活用して大変効率的に行える。

この茶席の組み立ては町内会が手ずから TENT を建てるのと異なり藤工業という専門の設営業者に依頼している。調査年の藤工業の談話では「見番（向嶋墨堤組合）からは3月25日までに建てるように言われている」「3月23, 24, 25で建てる。鉄パイプ組立製。各日10時から作業する」とのことであった。

桜茶や（隅田公園桜まつり 桜茶や）（台東区）（【図16-1, 2, 3】【表11】参照）

この茶屋は、台東区隅田公園周辺の町会や町会青年部、身障者の団体などが桜開花期間中交互に担当している⁴⁾。向島から離れた台東区にあるが、屋台の構造に他にない特徴があるため取り上げた。この茶屋は、箱形の簡易プレハブを利用し加熱商品を準備する空間、プレハブの開口部前に机を並べた販売空間【写真24】、別のプレハブを用いた商品保管空間【写真25】で構成される。



【写真24】桜茶や店頭 奥のプレハブで調理
(1998.4.11)



【写真25】商品保管用プレハブ (1998.4.12)

エリアa (No.124 ~ 137, 152, 139 ~ 144内の掲示物含む) 販売エリア1 (右)

折り畳み机2台に商品を陳列している。向かって右から順に、カード小銭両用の緑の公衆電話、平たい保温器が置かれ、保温器には日本酒（【表8】内商品No.14）、コーヒー（【表8】No.7）、茶飲料（【表8】No.10）などが入っている。その左には乾きもの袋菓子（【表8】No.19, 20）、使い捨てカメラ（【表8】No.31）が、さらに左に日本酒（【表8】No.14）、おつまみ（【表8】No.21, 24, 30）が並べてある。机の下には持ち帰り用のレジ袋（アサヒスーパードライ文字入り）を、すぐ取り出せるように提げている。

エリアb (No.111 ~ 123, 138, 139 ~ 144内の掲示物含む, 153) 販売エリア2 (中央)

エリアaの机に連結した別の机に右から菓子類（【表8】No.16, 22, 18, 28, 26）、つまみ（【表8】No.28, 29）が並べられ、机の奥側には、おでん等の食器として使う発砲スチロール製の椀（PSP椀）を数個置き、つり銭の小銭入れに転用している。この机にも持ち帰り用のレジ袋が提げてある。

エリアc (No.97 ~ 110) 販売エリア3 (左)

ここには営業用の平置きタイプの冷蔵庫（通称ドブヅケ）がある。水を張り、中に缶飲料（【表8】No.5 ~ 13）を入れている。上段には各種の缶を見本として並べており、ここにもつり銭入れとして発砲スチロール製の椀を置いている。

この販売エリアは机の前面や背後のプレハブの壁面などを利用し全域に商品価格や見本の写真を表示した紙をラミネート加工し複数掲示している。向かって右端には看板を立て、この店舗の趣旨を宣伝している【写真26】。

エリア d (No.1 ~ 19) 焼きそばエリア

プレハブ内部の調理空間に目を転じると、入って左手前は焼きそば調理用のコンロ付鉄板が台の上に置かれ、その横にはおでんの出荷用段ボールを積み重ねた上に箱に入った刻みキャベツ、ソースや青のりを入れた容器がある。その横に焼きそばの麺を番重に入れ積み重ねている。鉄板の前面には油はね除けと耐火措置のためにブロックを縦に並べている。窓開口部のすぐ内側に位置するので、出来上がったら窓から手を伸ばして販売員にすぐ商品を渡せる。



【写真26】店舗正面に立つ看板
(1998.4.12)

エリア e (No.84 ~ 96) おでんエリア

プレハブ内部右手前は机の上にガスコンロ2台を置き、アルミ鍋でおでんともつ煮のレトルトパックを湯煎している。提供時は器に入れるため、発泡スチロール製の椀を左脇に積み重ね用意している。机の横にはゴミ用のビニール袋を提げている。dエリア同様窓の開口部に密着した配置である。

エリア f (No.20 ~ 51) 資材・焼きそば準備エリア

左後方には観音開きの大型冷蔵庫があり、その上に焼酎のペットボトル、プラスチック製籠、段ボール箱、発泡スチロール製保冷箱、清酒（大関）紙パックなどが置かれている。その右隣はスチール棚で、販売員の上着や手荷物、ラジカセ、キッチンペーパー、使い捨てコップ入りの段ボール箱などがある。棚の前には焼きそばの麺を入れる番重を積み重ね、その上にまな板を置いてキャベツを刻む場所として使用している。その横にも商品の入った段ボール箱が並んでいる。なお、イラストにはないが、fエリア至近の室外に水場としての流し【写真27】がある。



【写真27】桜茶や外 水場 (1998.4.12)

エリア g, h (No.52 ~ 83) もつ煮・連絡先掲示エリア

プレハブ室内右後方に置いた机の上に日本酒のストック、発泡スチロール製の椀のストックを積み重ね、机中央にはガスコンロを置き寸胴鍋でコーヒー、茶飲料、もつ煮のレトルトパックを温めている。脇には安全に熱湯から取り出すための火ばさみ（トング）も用意してある。机の後ろの壁には掲示物がある。価格と商品の写真の紙のほか、以下の表題の掲示物がある＝「1998さくら祭りSTAFF」、「各町会青年部分担日程表」、「たいとうハンデワーク参加者名簿」、「桜まつり仕入れ担当者仕入先一覧」、「桜

まつりスケジュール表」。これらは個人情報を含むため奥に掲示している。

客席は、店のそばにあり、アサヒビールのビール瓶用プラスチックケースと板を組み合わせたここでは定番のセットをベンチとして使う。しかし、この店舗のものは他店舗と比べ手間をかけており、ベニヤ板裏面にビール瓶ケース（脚）から板が外れにくいように角材を組み合わせてストッパーを設けている。来客の安全面への気遣いであるとともに、一度セットすればずれないため作業者の手を煩わさないメリットがある【写真28】。

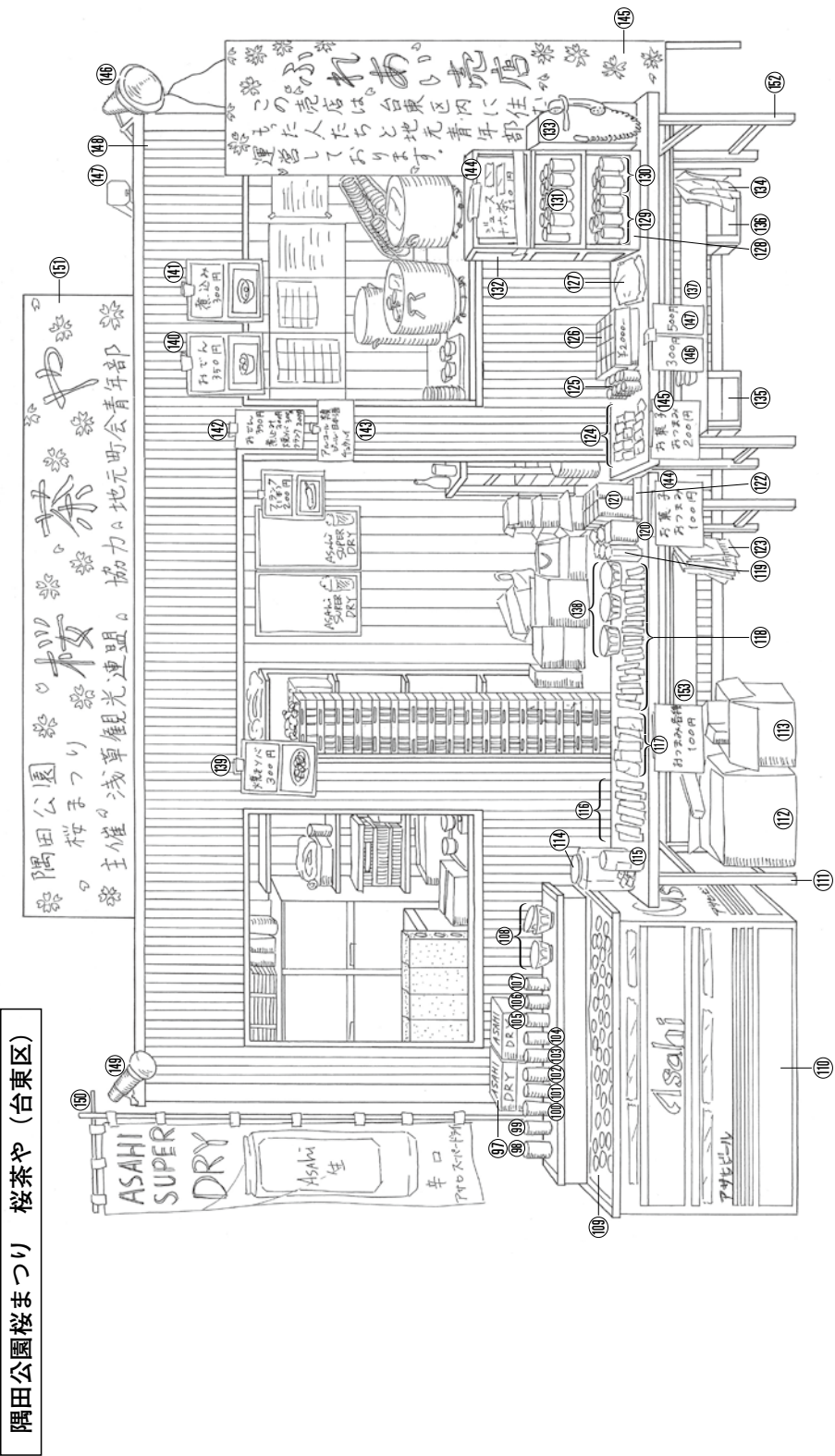


【写真28】桜茶や客席 座面がずれぬよう上板裏に工夫 (1998.4.12)

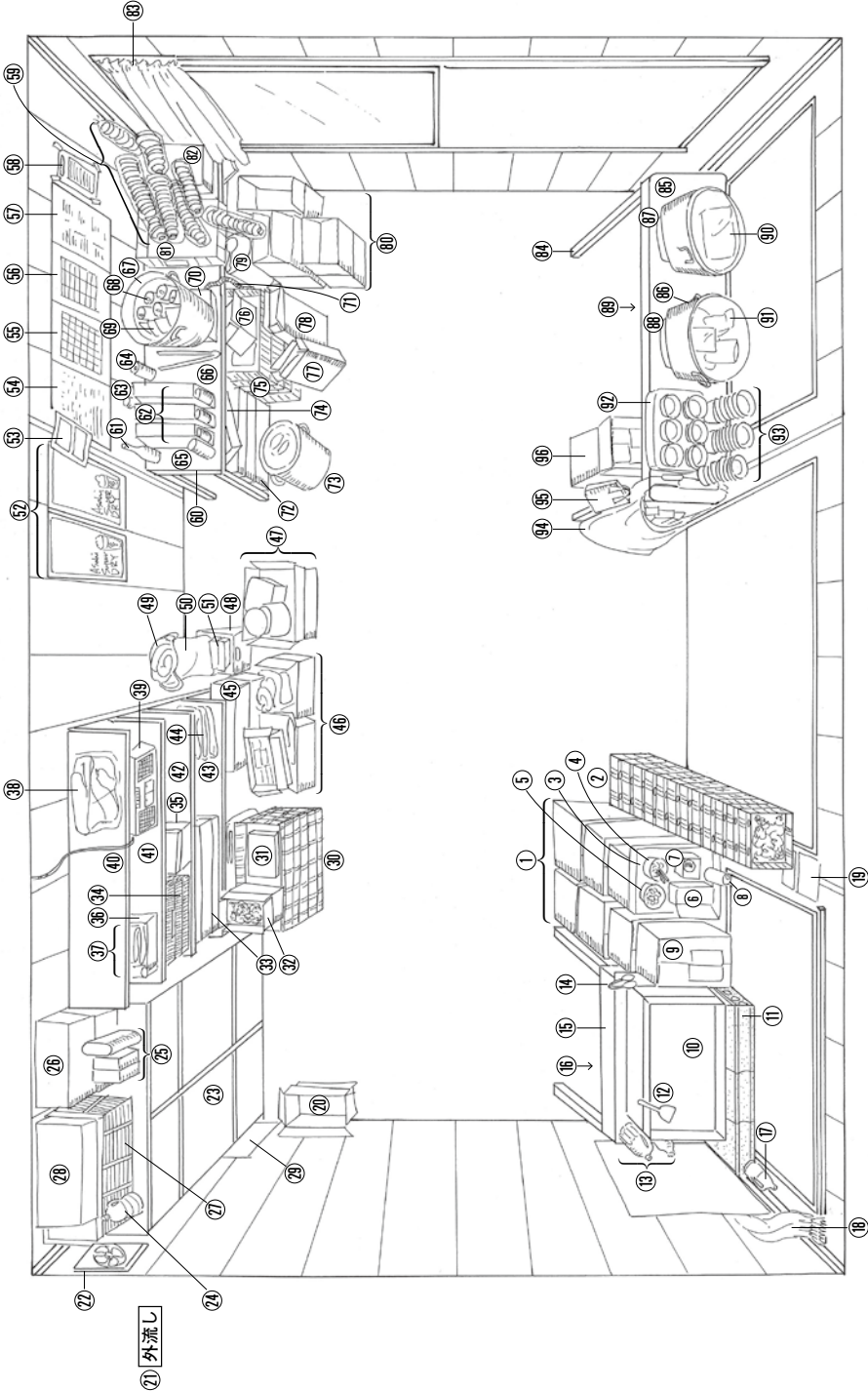
そのような工夫以外にこの店舗の特徴は、何といってもプレハブを活用しその開口部を有効活用するなど、模擬店運営の基準を満たす設えを手間をかけずに実現している点にある。2021年（令和3）に浅草観光連盟に話を伺ったところ、地元の青年部の運営を障がい者の方が応援する形の運営であったが、この時期の青年部は他に仕事を持つ人が多く、手が回りにくい問題を解決するために熱心に応援協力者を募る工夫をして維持に努めていたとの説明があった。そのような中でより簡便で安全な運営を重視して選んだ方法なのだろう。

（7）屋台復原展示の課題

【図14～16】、【表9～11】が、イラスト調査図とそれに平行して実施した物品や什器等の記録であるが、これだけでは展示場での屋台の再構築の際の情報として足りないため、スチール写真による撮影や、看板や棚の取り付け方は詳細図を現場で別途メモするなど補完準備をした。とくに、屋台の組み立ては、複数町会について終日現場で拝見し写真を撮った。組み立ての時間経過と手順がわかるのでそれだけでも報告書の作成が可能なのだが、今回は紙面の都合で割愛している。また、料金表や商札、ぼんぼり、レジ袋、商品札などの物品を博物館資料として収集した。現物の収集は展示の際に同等なものを準備するのにも役立つ。しかし、今見直してみるとこの手控えだけでは判断しにくく、当時それらの物品では何が主流であったか遡及調査を行い、現在も同じものがあるか調べる必要性が増している。分かりやすい例では、現在は地球環境に配慮し、レジ袋や使い捨ての食器類も材質が変わっている。「アサヒビール販促ポスター掲示」と文字で記録をしても誰が看板娘のポスターなのかは記録していない。写真記録からも割り出せない場合はアサヒビールの当時の広報宣伝記録と突き合わせる必要がある。この種のもものは調査から時間が経てば経つだけ確認作業が増える傾向がある。当時は当然である物や事象について調査者の配慮が至らない結果であるが、時間を経ってしまうとどの時代の資料でも等しく様相をとらえにくくなる。ことによると、現代は物が豊富なため、江戸時代よりもいっそう絞り込みが難しいものもあるのではないかと強く感じた。

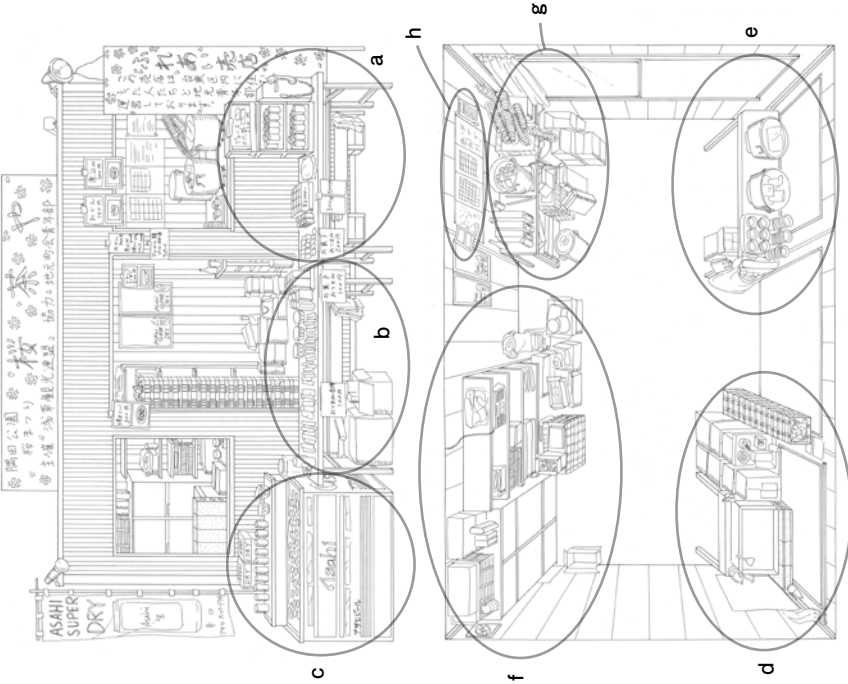


【図16-1】 物品配置番号図 1



【図16-2】 物品配置番号図 2

エリア解説 a : 販売空間(右)
(No.124 ~ 137, 152, 139 ~ 144内の掲示物含)
b : 販売空間(中央)
(No.111 ~ 123, 138, 139 ~ 144内の掲示物含, 153)
c : 販売空間(左) (No.97 ~ 110)
d : 焼きそば調理 (No.1 ~ 19)
e : おでん温め (No.84 ~ 96)
f : 資材・焼きそば準備 (No.20 ~ 51)
g,h : もつ煮温め・連絡先掲示 (No.52 ~ 83)



【図16-3】 エリア図

隅田公園桜まつり 桜茶や (台東区)

* 線の名称はおもなもや用途。本文も参照

【表11】物品一覧表（【図16-1・2】物品配置番号図/【図16-3】エリア図対照表）

【平面図】

エリア符号	番号	物品名称	備考	
d	1	おでん既製商品入り段ボール箱	「容器包装詰加圧加熱殺菌食品 紀文フードケミファ TCF 特選おでん110」の印字がある段ボール箱	
	2	番重(黄色 合成樹脂製)	プラスチック製? 焼きそば用麺在中	
	3	アルミ製盆(銀色)		
	4	紅ショウガの椀	発泡スチロール製椀(白)・割箸突っ込み	
	5	青海苔椀	発泡スチロール製椀(白)	
	6・7	(不明)		
	8	ウスターソース瓶	ブルドック製(家庭用ポリプロピレン小ボトル)	画不良
	9	刻みキャベツ(箱入り)	1の空き箱にビニール袋を被せ利用	
	10	鉄板焼き用鉄板		
	11	ブロック	壁面耐火用	
	12	ステンレス製へら		
	13	サラダオイル	ペットボトル型容器	
	14	ステンレス製トンゲ		
	15	上面ステンレス張りの机	流し台の一部か?	
	16	(下部未見)	下にガス類?	
	17	サラダオイル	ペットボトル型容器	
	18	カーテン	めくり上げてある	
	19	商品価格見本掲示: フランク(1本)200円)	ラミネート加工、マグネットクリップにて止め付け	
f	20	空箱		
	21	外流し	ステンレス製 2シンク(うち1シャボネット容器付設)・蛇口各1・下部パイプにも蛇口(ホース付き) 台所用洗剤「チャーミーグリーン」常備	画なし 写真参照
	22	換気扇		
	23	大型冷蔵庫(白色)		
	24	焼酎ペットボトル		
	25	清酒大関紙パック		一部画不正確
	26	蓋付箱(白色)	発泡スチロール製 商品保冷用利用	
	27	プラスチック製籠(青色)	内容不明	
	28	段ボール箱	内容不明	
	29	「クリアブランデー」段ボール箱	畳んで壁面境に押し込め	
	30	番重(黄色 合成樹脂製)	プラスチック製? 空の状態。	
	31	合成樹脂製まな板(白色)		
	32	刻みキャベツ(箱入り)	9同様「特製おでん」空箱入り	
	33	段ボール箱	透明の使い捨てコップ入り	
	34	プラスチック製籠(緑色)	「店内専用」文字入り	注文のあった商品を籠にまとめる?
	35	「20点フルセット」シール付蓋付紙箱	内容物: 食器小間物類か?	
	36	キッチンペーパー・ビニール包み		
	37	スタッフ荷物	カーディガンと靴 36の上に置いてある	
	38	スタッフ荷物	上着	
	39	ラジカセ		
	40~43	スチール棚(4段棚板)	白色塗装	
	44	(不明)	スタッフ上着か?	
	45	段ボール箱	内容不明	
	46	段ボール箱	商品入り。開封しかけている。	
	47	空段ボール箱	イカ串刺(蓋付瓶入り)が梱包されていたもの	
	48	持ち手手掛かり付段ボール箱	内容不明	
	49	スタッフ荷物	リュック	
	50, 51	(不明)		
h	52	アサヒスーパードライ生缶販促美女水着ポスター		
	53	商品価格掲示(写真付)	ラミネート加工済紙片。マグネットクリップ止め	
	54	掲示物	「1998年さくら祭りSTAFF」	
	55	掲示物	「各町会青年部分担日程表」	
	56	掲示物	「たいとうハンドワーク参加者名簿」	
	57	掲示物	「桜まつり仕入担当者 仕入先一覧」	
	58	掲示物	桜まつりスケジュール表(全体)	
	59	白色椀・ビニール包み	白色発泡スチロール製 使い捨てタイプ	
	60	折り畳み机		
g	61	CANADA DRY 瓶		
	62	ワンカップ大関5本セット包み	3個	
	63	ワンカップ大関	バラカップ	
	64	缶飲料(アサヒ十六茶)		
	65	缶飲料(アサヒ十六茶)	スタッフの飲みかけ	
	66	火鉢み(トンク型)	熱燗取り出し時使用	
	67	寸胴鍋	熱燗湯煎用	
	68	缶飲料(アサヒ十六茶・コーヒー)		
	69	もつ煮レトルトパック	透明袋入り	
	70	ガスコンロ	五徳むき出し型	画不良
	71	ガスホース(青色)		
	72	ワンカップ大関180ml×5×6梱包段ボール箱	中味あり	
	73	寸胴鍋		
	74, 75	番重(黄色 合成樹脂製)	プラスチック製	

エリア符号	番号	物品名称	備考	
	76	空段ボール箱	「紀文フードケミファ TCF 特選おでん110」の梱包材空箱	
	77	空段ボール箱	アサヒ十六茶24本用梱包材箱開封状態(中身あり?)	
	78	空段ボール箱	アサヒ烏龍茶24本用梱包材箱開封状態(中身あり?)	
	79	ガスボンベ		
	80	空段ボール箱	ニチレイ牛もつ煮こみ90梱包材箱(一部中身あり?)	
	81	番重(黄色 合成樹脂製)	プラスチック製	
	82	空段ボール箱	「特選おでん100」	
	83	カーテン	格子模様	
e	84	折り畳み机		
	85.86	アルミ鍋		画不良
	87.88	ガスコンロ		画不良
	89	(下部未見)	ガスボンベあり?	
	90.91	レトルト食品袋	もつ煮もしくはおでん	
	92	アルミ盆(銀色)		
	93	発泡スチロール製碗(白色)		
	94	ゴミ袋	机にガムテープで固定	
	95	ポリエチレン製手提げ袋(白色)	「アサヒスーパードライ」ロゴ入り。	画不良
	96	商品段ボール箱	もつ煮もしくはおでんストック	

【立面図】

エリア符号	番号	物品名称	備考	
c	97	アサヒスーパードライ生缶段ボール箱	350ml×24缶用 中身あり	
	98	缶飲料 ハイリキ	見本用陳列	
	99	缶飲料 スーパーカンチューハイ	見本用陳列	
	100	缶飲料 アサヒスーパードライ生	見本用陳列	
	101	缶飲料 アサヒ烏龍茶	見本用陳列	
	102	缶飲料 アサヒ十六茶	見本用陳列	
	103	缶飲料 アサヒバヤリスオレンジ	見本用陳列	
	104	缶飲料 アサヒワングコービー	見本用陳列	
	105	缶飲料 アサヒ三ツ矢サイダーさわやかぶどう	見本用陳列	
	106	缶飲料 アサヒTeaco	見本用陳列	
	107	缶飲料 アサヒ三ツ矢サイダー	見本用陳列	
b	108	小銭入れ(白色碗)	白色発泡スチロール碗転用	
	109	缶飲料多数	水浸冷却中	
	110	平置き陳列型冷蔵庫	アサヒビールロゴ入り	どぶづけ浸水型
	111	折り畳み机		
	112	商品段ボール箱	ココア味うまい棒30入×20袋(箱内中味あり?)	
	113	商品空段ボール箱		
	114	イカ串刺し入り蓋付瓶	蓋=オレンジ 瓶本体=透明プラスチック	
	115	チーズかまぼこ入り容器	「チーズかまぼこ」シール付き 透明プラスチック製	
	116	袋菓子 うまい棒(ココア味)		
	117	袋菓子 ハートチップル		
	118	袋菓子(豆菓子、裂きイカ、燻製、おつまみフライビンズ)		
a	119	箱菓子 ロッテコアラのマーチ		
	120	ポケモンゲット ケン玉箱		
	121	箱菓子 ウエルカムミッキーマウス ココア		
	122	箱菓子梱包段ボール箱蓋	ウエルカムミッキーマウス ココア味の梱包箱の蓋	
	123	レジ袋ストック(白色)	アサヒスーパードライロゴ入り	
	124	袋菓子(味付けビー、バタービー、グリーンビー、オリオパック)		画不良
	125	ワンカップ大関カップ	バラ陳列中	
	126	インスタントカメラ Film New写ルンです	梱包箱入り箱上部開封して陳列	
	127	袋菓子 乾きもの		
	128	四方見置型保温機(卓上型)	アサヒうまさキレワングフル、新世代コービーワンダ ログシールあり	
	129	アサヒ Teaco缶		
b	130	アサヒ ワングコービー缶	128にて保温中	
	131	ワンカップ大関		
	132	アサヒ十六茶		
	133	公衆電話(緑色)	カード・小銭両用型	
	134	レジ袋ストック(白色)	アサヒスーパードライロゴ入り	
	135.136	アサヒビール瓶用ケース(黄色)	大瓶20本用	
	137	ベニヤ板	135.136と組み椅子として使用	
	138	小銭入れ(白色碗)	食品用の発泡スチロール碗転用。販売対応時使用	
a.b もしくはその背面壁	139~141	商品価格・見本揭示	ラミネート加工済 マグネットクリップ止め	
	142~144	商品価格揭示	ラミネート加工済 マグネットクリップ止め・ガムテープ止め	
プレハブ外回り	145	木製立て看板	表面ビニールがけ雨水保護	
	146	照明ライト		
	147	放送スピーカー(トランペット型)		
	148	簡易プレハブ躯体	壁面スチールプレハブ	
	149	照明ライト		
	150	アサヒスーパードライ幟旗		
	151	看板	トタン張りか?	
a	152	折り畳み机		
b	153	ベニヤ板	137同様ビールケース(未見)と組み椅子として使用	

※「物品名称」は、復原時調査者自身が想起しやすいよう付与している。当館の資料名表記基準とは異なる。

また、第二の課題として、遡及調査、補充調査を行う前に展示の目的として屋台を通じて何を見せるのか明確にしておくということがある。【表9～11】にあるように屋台内の物品は多量である。その場にある物は全部意味をもつものであるとの意識は、博物館がある環境の一括資料を集める際に決して忘れてはいけないものであるが、すべてをそのまま展示するのか？模擬店の屋台構造を理解してもらうのが目的か？その時代の売り物の紹介を主眼に展示したいのか？売り物だけでなしに模擬店の運営体制や運営者の存在や特徴に踏み込んで展示するのか？—それぞれの視点により、用意すべき物が異なってくる。実際、展示室での紹介は、解説文や図表を併用しての対処が可能であるし、物を豊富に出すと煩雑で却って見にくい。そこで、引き算展示をする場合は、その際に何を優先的に引いていくかということである。もちろん、全く引かないこともある。また、見せるのはあくまで「物」だということを忘れ、観念的になりすぎてもいけない。

第三には、近年の傾向として、体験的なものや実感を伴って見られるものをより重視し、インスタ映えするものが喜ばれる傾向がある。それにどの程度応えるかにより、展示物や選ぶ量、配置が違ってくる。インスタ等の発信に凝る来館者は往々にして、よりそのものの近くに寄り「お手を触れないでください」と書いてある物にも手を触れることがある。従って危険なものは置けないし、展示全体プランのどのエリアに配置して中に人を入れるのか等、与件として考慮すべき事柄は多い。

江戸東京博物館の分館に小金井市の江戸東京たてもの園という建造物を展示している博物館がある。筆者はたまたま、各建造物に一人ずついた案内解説員を翌年から配置できなくなる年に着任していたことがあるが、そこから異動する際の最後の引継ぎ事項として上司から強く言われたのは「後任は着任してすぐ判断できないと思うので、担当建造物の展示物（設置してある調度品や道具類）でスタッフ不在だと危険なもの、傷みやすいもの、紛失しやすいものは極力全て撤収して引き継いでくれ」というものであった。大変寂しい作業であったが、来館者を安全に迎え文化財を保護するためには至極まっとうな意見である。撤収後の印象はかなりスカスカであり、しかも、ほぼそのまま今に至っている感が個人的にはあるが、それでも来館者のインスタには「なつかしい昔の風情の中にいる私」が楽しそうに登場している。

展示をする側として、色々な選択肢の中で何を持ってよしとするか？というのが最後の課題である。

第2章 花見行事運営者の育成

花見屋台運営のノウハウは毎年繰り返す中で蓄積され、慣例的に行うことにより次の世代に伝えられている。地元住民が集う町内会の屋台の動きはかなり素人離れしたもので、緻密な計画・連携がある。花見の季節は毎年訪れるものだが、こういった運営のノウハウや機転は花見の時期の模擬店の運営だけで培われるものではない。町内会には、隅田川花火、隅田川で行われるレガッタへの協力、地元の祭礼行事、交通安全週間への協力など多岐にわたる活動がある。町会のさまざまな催事や普段からの付き合いをこなすことで、所属員には組織的な役割分担、臨機応変で応用力のある無駄のない動きが身についていく。単純な例では、行事に使用するテントを一張り建てるにも、組み立て方を熟知していれば少人

数でも15分で組み立てられる。筆者は同種の屋台行事を館の地域連携で担ったことがあるが、アルバイト作業員を募るプロの業者よりも地元町会の方が手際がよいことがしばしばあった。大人数でも30分以上かかるのと15分で終わるのでは全く効率が違う。

さて、それではこれを仕切る役員は、どのようにして選ばれているのだろうか？役員の方にこの点について伺った。

【向島一丁目町会役員A氏談】

向一町会では町会や町会内の各集団が関わるものとして【資料2】のような年中行事がある。さくらまつり出店もあくまでその一つである。

役員の選定は、児童会で活躍をした役員になるべく目をかけてお願いしていくことがある。また、会社員よりは自営業の方が時間の都合がつくことから役をやりやすいので依頼される（A氏は自営業 60歳代）。また、自身も児童会会長経験者である。児童会会長経験後、PTAの校外部（校外指導部）役員や会長をつとめた。児童会は町会内のもっとも若年齢層の集団であり、児童を対象とした催しや、祭礼の子供みこしや大運動会の子供対象種目などを担う。児童に対する配慮は町内の各行事に不可欠である。また、どの町にも児童会（子供会）は必ずあるという特色がある。向島一丁目児童会では、かつては男子はソフトボール大会、女子はバドミントン大会など、現在よりもっと多くの児童向けの催事が存在した。A氏は子供が学校を卒業しPTA会長をおりることになり、忙しい中いろいろとやっていたため「やれやれこれで解放された」と思ったら「町会のもの（役）をやって欲しい」と依頼が来た。このことについて、A氏はそれまでの自分の様子を見られていたのではないかと考えている。

また、祭礼の睦会は父が亡くなった後、自動的に加入した。ただし、睦会は誰でも入れるものではなく資格審査があり、祭礼に関わる出費をまかなうことができ、かつ、関連作業に出られる人が加入できる。つまり、金銭的な出費だけの名誉職として加入するものではないため、祭礼の準備を含めて相応の行事に参画をすることが資格要件である。

役員複数の方に等しくお話を伺うことはできなかったのだが、A氏の談話からは、低年齢層集団への所属 → 中堅集団への所属 への段階的なルートがあることがわかる。ここでいう低年齢層集団は、正確には「低年齢層をお世話する集団」といえるが、「子供が卒業して」引退という言葉からは、所属者も小さな子供を抱える若い年齢層が多いと思われる。若い年齢集団を引退しても次の受け皿が存在し、若い時分に顔が売れていると年長集団に属した後の役員就任への引きも強い様子である。調査では「向島一丁目町会は老人会が二つあり大きいから動きやすい」との発言が聞かれたが、町内会内で経験豊富なシルバーパワーが壮年層を補助する体制も伺える。A氏も自身がいろいろな局面での活動の結果勧誘を受けたのと同様に、現在は、単なる監督ではなく、今後のことを考え後進の様子を気に留めているとのことであった。

町会の核となる役員は町内行事に不案内ではつとまらない。知らなくてはならないことは多いが、集

【資料2】向一町会年中行事 1998年（平成10）

<p>1月 町会新年会 成田山新明講初詣 睦会新年会 愛護会清掃日 いこい会（旅行の会） 新年会（会長他） 墨田ラジオ体操連盟 新年会 向一児童会新年会（会長・副会長・会計出席） 向一婦人会新年会</p>	<p>2月 町会定例役員会 愛護会清掃日 睦会定例会 さくらまつり準備会（会長・副会長 墨田区） さくらまつりについて町会役員会</p>
<p>3月 愛護会さくらまつり4町会会議 町会・睦会合同会議（定例会 さくらまつり等） さくらまつり売店設営 さくらまつり各種商品仕入れ さくらまつり売店開店・運営</p>	<p>4月 さくらまつり売店運営・閉店 さくらまつり片づけ 町会・睦会合同会議（定例会） 町会会計監査会（3役） さくらまつり反省会 （児童会・青年会・婦人会・老人会・町会役員） 町会運動会実行委員会（小梅町も） 成田山参拝打ち合わせ（講元・副講元・会計）</p>
<p>5月 成田山世話人会 運動会準備（テント張り、グラウンド引き、万国旗掲揚） 大運動会 （朝7時より 於：区立隅田公園和風公園 286名参加）¹²⁾ 町会定時総会 クリーンキャンペーン（105名参加） 成田山参拝（バス3台）</p>	<p>6月 北部連合町会総会（15ヶ町 会長・副会長出席） 町会役員定例会 小田原 大山講（世話人） 睦会定例会 フォークダンスフェスティバル （資材貸し・設営協力 於：区立隅田公園和風公園）¹³⁾</p>
<p>7月 隅田公園環境浄化打ち合わせ（墨中地区育成委員会） 町会・睦会合同役員会 愛護会清掃日 成田山参拝反省会 隅田川花火大会自主警備について打ち合わせ 小田原大山阿夫利神社参拝 隅田川花火大会説明会 隅田川花火大会（6時～）</p>	<p>8月 向一児童会金魚すくい 町会・睦会合同幹部会（祭礼について） 愛護会清掃日 町会定例役員会（祭礼について） 睦会定例会（祭礼について） 青年会主催子供相撲大会 大山講反省会 児童会夏期行事反省会（会長・副会長・会計出席）</p>
<p>9月 町会・睦会合同会議（祭礼最終打ち合わせ） 祭礼の寄付金 愛護会清掃日 祭礼の神酒所飾り 祭礼（12・13日） 祭礼後片づけ・諸支払い 睦会 積み立てによる鉢洗い旅行（草津長野方面）</p>	<p>10月 睦会3役会及び会計監査会 愛護会清掃日 町会役員会 睦会定例会 向島一丁目町会防災訓練</p>
<p>11月 神輿修理引き渡し 地下鉄11・13号線早期実施大会参加 町会定例役員会 愛護会清掃日 睦会定例会</p>	<p>12月 KSD（生涯保険）役員説明会 北部連合町会忘年会（15ヶ町 会長・副会長出席） 町会役員定例会 愛護会清掃日 睦会定例会・忘年会 西早稲田穴八幡神社参拝（午前6時～ 50名） 町内歳末警戒（28・29・30日 毎夜25名）</p>

団内で年齢ごとに段階を踏み、また、毎年諸行事に繰り返し参加することで、自ずと関与者の特技や気質、予算等の内情を学んでいく。各年中行事には相当数の関与者・参加者があることから相応の金銭的処置も生じ¹²⁾、正確にさばく責任がある。また、名所が近い・名所の中にあるという土地柄、町会を信頼した協力依頼が行政から多々ある。花見や花火という大きな行事のあるこの地域では、内向きだけではない対外的な視点をより強く持つことも極めて重要であり、そして、外からの期待に応える判断は、自身の所属する町内の特性や力量を理解してこそ出来るものである。

町内に重層的に存在する集まりは、祭礼や花見、児童の集まりなどそれぞれの活動を通じて接点を持っている。「墨堤さくらまつり」の観光宣伝だけを見ると、行政の設定する観光誘致のイベントとしての「まつり」の印象が強く、行政抜きには語れない現代的な要素を持つ観光行事である。しかし、その基盤には都市に暮らしてきた人びとの持つ慣習的な集団の原理が生かされており、それなくして「さくらまつり」の模擬店は実現しえないのである。

また、同年の調査では、隅田公園愛護会会長である向島5丁目町会長B氏(大正12年生)から、「昔と違って今は役員の異動が激しいので仕事を頼みにくい。町会長は昔は5～10年やったものだが、現在は2、3年でやめてしまう人が多い。このため、地付きの古い人間がやるようになる」との話もあった。長い期間担える方が限られていることは、長く担えない方や参加協力が難しい方が増えているということでもある。町内会加入者の減少なども相まって、後進の育成はどのコミュニティでも大きな課題である。

第3章 むすびにかえて

以上、「隅田川調査」の墨堤さくらまつりを中心とした模擬店屋台の設営や運営の様子、また、背景にあった屋台の展示案の存在について紹介した。最後に、その後の動き・これからについて触れてむすびとする。

本稿は、冒頭でも述べた通り、当館にかつてあった研究グループ活動のデータを主管部門の都市歴史研究室が大切に保管していたこと、また、幸運にも館の歴史のアーカイブズ活動の議論が時期を同じくしてあり、データの確認をする機会を得たので執筆できた。しかし、「隅田川調査」を行った文化人類学グループは展覧会に至る前にテーマ課題を取り下げ活動を停止した。フィールドワーク調査に対する方法論の認識のズレや調査研究の成果を展示や博物館実務につなげたいという学芸員の意図と研究室の考えにギャップがあったためである。その後、主管の都市歴史研究室には博物館の教育普及要素が加わるなど様変わりしているが、それでも隅田川にからんだシンポジウムや報告書の刊行等¹⁴⁾を数次に及び行っている。やはり「隅田川」の存在は当館、江戸・東京にとって変わらず大きなテーマであり続けているのである。

そして、現在の隅田公園周辺は、その後の2012年(平成24)東京スカイツリーの完成や街の整備により景観も大きく変わっている。行政が関与した桜や公園の管理体制も充実し¹⁵⁾、イベント時の模擬店の

運営方法に対しての行政の取り決めも変化している。また、ここ数年のとくに大きな変化はCOVID-19の流行であり、催事としての桜の行事の実施を墨田区・台東区ともに2020年（令和2）、2021年（令和3）と連続して見合わせている。この間さまざまな伝統的な行事が中止となり、さくらまつりの長い歴史の中においても極めて特異な事態である。この自粛は長期に及び、さくらまつりを支える隅田公園愛護会の町内会が担うその他の行事も少なからず中止や変更を余儀なくされている。実務的に考えると、反復しての運営の習熟機会が量的に減少していることから、墨堤さくらまつりに限らず今後の地域の催事文化や暮らしのありようが変わるエポックになるのかもしれない。そういった中で、今回報告した記録がわずかでも役に立ち、価値あるものとなれば幸いである。また、調査の折お話しいただいた「花見客への便宜供与から始めた」という精神にのっとり、それを担う隅田公園愛護会の会員にとって無理がなく桜の行事が続くよう、切に願うものである。

（謝辞）

本稿をまとめるにあたり大変多くの方のご協力を得た。とくに、地元のみなさまには沢山のことを見せていただき、お話を伺った。本調査への協力にあらためて御礼申し上げる。なお、報告の記述に話者の記憶違いや筆者の勘違いがある場合はご教示いただきたい—長い時間を経た発表になり心苦しい限りである。また、当館で同研究グループにて調査を共に実施した各担当者—なかでも、調査に同行しイラスト作成作業に取り組んでくれた齊藤絵里子氏¹⁶⁾、旧校正原稿の変換等編集に尽力いただいた当館の岩城紀子・瀧良介両名に、あわせて深く感謝するものである。

【註】

- 1) 当時、当館都市歴史研究室が主宰し館学芸員が参加した研究グループのうち「文化人類学グループ」が1998年（平成8）～1999年（平成11）に「隅田川をめぐる歴史と文化」をテーマに実施した調査をまとめたものである。この通称「隅田川調査」は、報告書の作成だけではなく、2001年（平成13）に隅田川を題材とした展覧会を開催することも目的であった。当館アーカイブズ資料群の中の「平成10年度調査研究専門グループ年間活動計画（第3グループ：文化人類学）」では、歴史・くらし・文化の3視点から、隅田川に関する文献・統計、開発と景観変化、治水と景観整備、往来船舶、ごみ・おわり運搬、漕艇・水泳、花見、花火の歴史と現状、宗教空間と行事、行楽地、遊興施設、絵画作品に見る江戸の景観 について7名の学芸員がテーマを分担している。これに、考古学グループの窯業関連調査、文学グループは史蹟めぐりに合流することもあった。花見の調査は1998年を中心に翌1999年春に若干の補充調査を実施した。現代の花見の特質をあらわす展示資料の絞り込みを進め、花見行事の装飾に使うぼんぼりなど関連資料のサンプル収集や、屋台の復原展示を目的に、護岸に地元住民が出す模擬店の屋台の構造や物品の調査に努めた。調査経過は当該報告書（p.27～29）参照。
- 2) 隅田川沿いの花見行事は、調査時点では墨田区側に「墨堤さくらまつり」、台東区側には「隅田公園桜まつり」「桜橋花まつり」の3つの名称があった。そのうち前者2つが桜の開花全体の期間にわたる花見時期のキャンペーン名称である。桜の開花期間の目安は「平成10年隅田公園〔桜まつり〕実施要項（案）」と掲示ポスターには3月21日～4月15日と掲載されている。ちなみに「墨堤さくらまつり」は墨田区の実施、「隅田公園桜まつり」は浅草観光連盟主催で台東区は後援の立場である。このためか、当時の台東区発行「台東区'98年イベントガイド」には桜行事としては「桜橋花まつり」のみが掲載されている。2021年（令和3）時点では、巷の観光案内サイトには「墨堤さくらまつり」「隅田公園桜まつり」の名称ではなく、「隅田川沿いの桜」等ほかした表記も散見する。「隅田公園桜まつり」の主催者である浅草観光連盟の話では、目下の悩みは「見分けがつかないために墨堤さくらまつりの問い合わせが来てしまうこと」

だという。

- 3) 主にテント張りの模擬店で、花見客に飲食物を販売している。役所の文書資料上は「模擬店」の表記である。調査時は「屋台」の通称が一般用語の感覚で調査者と現地の方との間では使われていたが「出店」「模擬店」等さまざまであった。本稿の「屋台」「模擬店」「店舗」「出店」「店」「テント」等の記載は同じものを指している。
- 4) 「桜茶や」は台東区墨田公園周辺の町会や町会青年部、身障者の団体などが桜開花期間中交互に担当し、周辺の町会模擬店の中でも最も年齢層の低い人達の参加が見られる模擬店である。町会青年部はこの他に花見期間中、土・日のミニS Lの運行イベント【写真4】などを公園内で行っている。
- 5) 隅田公園は隅田川沿いにあり、左岸（墨田区側）枕橋際向島1丁目・2丁目・5丁目にあたる範囲、右岸（台東区側）浅草～今戸（花川戸1・2丁目、浅草7丁目・今戸1丁目あたり）の範囲で川の両岸にわたる細長い敷地を持つ。両岸にわたるリバーサイドパークであり、正確には墨田区側は墨田区立隅田公園、台東区側は台東区立隅田公園で、管理者が異なるのも特徴である。この両岸の桜並木は徳川吉宗が手配した起源をもち、江戸時代から花の名所であり、隅田川花火の名所でもある。また、1923年（明治12）には関東大震災の被害を受けたが、後藤新平の主導で再整備され、震災復興3大公園の一つという歴史も持つ。墨田区側隅田公園の一部は、水戸徳川家の小梅邸遺構であり、それを活用した日本庭園がある。調査時の現地の方は「日本庭園」「和風庭園」等呼んでいる。隅田公園は平成10年の調査以降も両区とも積極的に整備を進めており、区民の憩いの場であるとともに有力な観光資源である。
- 6) 清掃作業の範囲は外部の建物などを目印に次のように担当分けしている。
向島一丁目町会：枕橋
向島二、三丁目町会：三囲神社周辺にあたる隅田公園
向島二丁目睦町会：桜橋
向島五丁目西町会：言問団子店舗の付近
【図1】に示した各町会の花見行事用の屋台の位置はこうしたエリアと対応する。
- 7) 隅田公園（墨田区側）へのもう一つの出店、向嶋墨堤組合茶席（通称芸妓茶屋）は町内会系列ではないが、墨堤組合会長（見番）が出席する。この年度は欠席だった。
- 8) かっぱれのみ4月12日実施予定と説明された。
- 9) 屋台の大きさの把握は、後述のとおり実測作業を見送ったため、展示実施の際は既製テントの大きさから割り出して概ねの大きさを決める想定とした。原則各店既製テント2張りだが、桜の保護や地形に応じて許容範囲内で微調整がある。
- 10) イラスト作成時は方眼紙に描いたが、作成をした担当者は専門的な美術教育を受けているわけではなく縮尺の精度をはかるための方眼紙利用ではない。また、人選にあたり、難しい環境でも根気よくすべての出店の様子を描く技術と意欲のあること、周囲に不快感や警戒感を与えることがなく、失礼のない対応ができることを重視し依頼した。
- 11) 博物館では催事として、地域行事の中で育んできた模擬店や盆踊り等を模倣し実施することがあり当館も同様である。が、そのイベントに集客のための一イベント以上の視点があるかと問われれば心許ない。その一方、来館者自身、同等な行事を行えるコミュニティに所属した経験が乏しくなっており、類似のものを突然体験したからといって楽しみ以外を汲み取ることが難しい。そういった状況があるので、考える仕掛けが幾種もあると便利だと考えた。
- 12) 町会大運動会は1999年（平成11）で第20回になる歴史を持つ。1998年（平成10）の参加者は延べ人数で1150名の規模に至り、運動会だけで60～65万円の経費が必要であるという。
- 13) フォークダンスフェスティバルは、東京女子大学をはじめ大学16校が区立隅田公園（和風公園）で実施する催しで、町会のテント、万国旗、テーブル、椅子を貸し出し、設営も15、6人の町会員が出て手伝う。大学はここで行うまでは毎年場所を変えていたが、敷地と必要物品が一度に揃い、レガッタ等の伝統がある地域のためか学生にも大変親切に設営協力をしてもらえるため、以降向島で開催するようになったという。
- 14) 報告書としては、その後、『東京都江戸東京博物館調査報告書 第24集 両国地域の歴史と文化』（2011年）、『東京都江戸東京博物館調査報告書 第28集 隅田川と本所・向島一開発と観光』（2014年）、『東京都江戸東京博物館調査報告書 第30集 浅草地域のあゆみ—江戸の信仰とにぎわい—』（2016年）、『東京都江戸東京博物館調査報告書 第32集 墨田川流域を考える—歴史と文化—』（2017年）、『東京都江戸東京博物館調査報告書 第33集 浅草地域のあゆみⅡ—近代化と盛り場の変容—』（2018年）等の刊行物を発行。都市歴史研究室主催のシンポジウムでは、2009年（平成21）3月「江戸東京博物館シンポジウム 江戸の水害—被害・復興・対策」、2016年（平成28）3月「江戸度東京博物館シ

ンポジウム「隅田川と流域を考える―歴史そして文化」、2017年（平成29）8月「平成29年度江戸東京博物館シンポジウム 浅草地域のあゆみⅡ-近代化と盛り場の変容」等、くり返し隅田川をめぐる課題をとりあげている。また、特別展「墨田川 江戸が愛した風景」2010年（平成22）9月22日～11月14日 も開催された。

- 15) 墨田区では「墨堤の桜の保全・創生事業」の一環として2004年（平成16）から4か年計画で隅田公園と桜の再整備を行った。その後も引き続き公園の整備を続け、都度ホームページで広く周知している。また、隅田公園の保全ボランティアの活動のよすがとなる「隅田川パートナーシップ協定」の締結など、隅田公園愛護会だけではなく各種の動きがある。
- 16) 跡見学園女子大学4回生（当時）。現場でのスケッチを依頼。引き続いてのトレース図の作成は両角まり氏が行った。

【参考文献】

- ・『東京都江戸東京博物館調査報告書第13集 隅田川をめぐる暮らしと文化』2002年3月東京都・（財）東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館発行
- ・『東京都江戸東京博物館調査報告書 第24集 両国地域の歴史と文化』2011年（平成23）3月 東京都・（公財）東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館発行
- ・『東京都江戸東京博物館調査報告書 第28集 隅田川と本所・向島―開発と観光』2014年（平成26）3月 東京都・（公財）東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館発行
- ・『東京都江戸東京博物館調査報告書 第32集 墨田川流域を考える―歴史と文化―』2017年（平成29）3月 東京都・（公財）東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館発行
- ・『東京の公園の歴史を歩く』2016年（平成28）11月 小野良平著、（公財）東京都公園協会発行
- ・『すみだまち歩き博覧会 江戸から続く花見の名所 墨堤桜めぐり コース24』2014年（平成26）9月 墨田区/（一社）墨田区観光協会発行
- ・「平成10年墨堤さくらまつり実施企画書（案）」（平成10年隅田公園愛護会総会配布資料）
- ・「研究ノート 隅田川をめぐる暮らしと文化―花見から桜まつりへ―」友野千鶴子・鈴木章生（『江戸東京博物館ニュース』第22号（通巻29号）1998年/平成10 6月（財）東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館編・発行
- ・「平成10年隅田公園「桜まつり」実施要項（案）」（平成10年台東区役所提供）
- ・「台東区'98年イベントガイド」（台東区観光課発行）
- ・「平成10年度調査研究専門グループ年間活動計画」江戸東京博物館都市歴史研究室主宰専門グループ第3グループ（文化人類学）作成

【調査協力】

隅田公園愛護会（傘下各町内会及び各町内会の児童会・婦人会・睦会・老人会のみなさま）、向嶋墨堤組合（見番）、藤工業株式会社、隅田公園桜まつり桜茶や、浅草観光連盟、桜橋花まつり実行委員会、墨田区文化行事室、墨田区道路公園課、本所保健所、台東区観光課、台東区役所清川出張所、斉藤絵里子、両角まり